

施策の方向2 人を育み、人を活かすまちづくり

第1項 次世代育成

- 施策1 子ども支援
 - 取組1 保育環境の充実
 - 取組2 子育てを支える環境の充実
 - 取組3 保育環境の確保
- 施策2 学校教育
 - 取組1 学校教育の充実
 - 取組2 いじめ・不登校対策の実施
 - 取組3 学校生活の支援
 - 取組4 特色のある学校づくり
 - 取組5 学校給食の充実
 - 取組6 教育施設の整備

第2項 生涯学習

- 施策1 生涯学習
 - 取組1 生涯学習機会の充実
 - 取組2 図書館機能・サービスの充実
 - 取組3 青少年育成の環境づくり
 - 取組4 社会教育施設の整備
- 施策2 スポーツ振興
 - 取組1 子どもたちの体力向上
 - 取組2 高齢者の運動による健康への意識醸成
 - 取組3 スポーツ活動団体の育成
 - 取組4 スポーツ施設の整備
- 施策3 文化振興
 - 取組1 郷土の歴史、文化財の保存・活用
 - 取組2 郷土の伝統文化の継承
 - 取組3 文化・芸術活動の推進

1 施策の位置づけ

施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	1 次世代育成	掲載	50	頁
施策	1 子ども支援					
施策の目標	地域の関係機関と連携して子どもを育みます	SDGs	1、4、5、17			
施策の概要	親からの目線や子どもからの目線、専門的な知見のそれぞれの視点を活かし、低年齢児からの切れ目のない子ども支援を進めます。					

2 取組の成果指標

指標名	単位	基準値	実績値					目標値
		2017(H29)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2023(R5)
ファミリーサポートセンター会員数	人	309	339	350	335	325		330
ファミリーサポートセンター利用者数	人	599	1,271	1,248	834	986		590
利用者支援専門員の配置数	人	0	2	3	3	3		5

3 施策を構成する事業の評価(取組別)

取組①		保育環境の充実						
取組の概要		就労形態の変化に対応した保育環境を整えます。						
番号	施策を構成する事業名	担当課	事業費(千円)			方向性		重点化
			2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	成果	コスト	
1	保育園運営事業	児童課	339,805	347,836	365,673	現状維持	現状維持	
2	保育等給付事業	児童課	137,043	294,803	217,904	拡充	拡大	◎

取組②		子育てを支える環境の充実						
取組の概要		子どもが地域でいきいきと育つ環境を整えます。						
番号	施策を構成する事業名	担当課	事業費(千円)			方向性		重点化
			2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	成果	コスト	
1	子育て支援事業	児童課	3,308	4,201	7,207	現状維持	現状維持	
2	児童手当給付事業	児童課	851,336	836,032	834,694	現状維持	現状維持	
3	地域交流事業	児童課	626	644	645	現状維持	現状維持	
4	児童館維持管理事業	児童課	12,049	13,021	15,740	現状維持	現状維持	
5	児童館運営事業	児童課	75,241	75,455	88,605	現状維持	現状維持	
6	児童館施設整備事業	児童課	16,047	1,571	1,727	現状維持	現状維持	
7	なかよし学園運営事業	児童課	21,231	24,413	28,150	現状維持	現状維持	
8	総合子育て支援センター維持管理事業	児童課	6,573	8,072	11,018	現状維持	現状維持	
9	総合子育て支援センター運営事業	児童課	863	968	1,168	現状維持	現状維持	
10	つどいの広場事業運営事業	児童課	7,270	7,646	18,349	拡充	拡大	
11	ファミリーサポートセンター事業	児童課	3,977	3,991	4,115	現状維持	現状維持	
12	子育て世代包括支援センター運営事業	児童課	2,036	2,197	2,269	現状維持	現状維持	

取組③		保育環境の確保						
取組の概要		計画的な改修、更新により、子どもの生活の場としてふさわしい保育環境を確保します。						
番号	施策を構成する事業名	担当課	事業費(千円)			方向性		重点化
			2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	成果	コスト	
1	保育園維持管理事業	児童課	55,089	62,990	70,481	現状維持	現状維持	
2	保育園施設整備事業	児童課	32,226	43,067	52,161	現状維持	現状維持	

4 施策の評価

評価視点	評価内容
成果指標の分析	<p>「ファミリーサポートセンター会員数」は、援助会員、依頼会員、両方会員の合計数です。会員登録した一方で、利用のなかった方の退会があったため、会員数は微減しています。</p> <p>「ファミリーサポートセンター利用者数」が増加した要因の一つとして、新型コロナウイルス感染症の影響が挙げられます。これまで利用を控えていた方が、送迎等の援助に利用したことが考えられます。</p> <p>「利用者支援専門員の配置」は、保育園の地域交流や児童館の各講座に出張し、親の心配事等を聞く役割を担っており、3人体制でも連携して支援できています。</p>
事業構成の適正化	<p>成果指標である利用者支援専門員の配置数について、専門的な知識をもつ支援員3人が保育園の地域交流や児童館の各講座に出張し、個別な相談に対応するなど、親と子どもの支援につながっていると考えます。また、取組①「保育環境の充実」については、2023(R5)年度から新たに民間保育所が開設され乳児枠拡充につながりました。</p>
事業の重点化	<p>多様なニーズに対して安定した保育サービスを提供していくために、保育等給付事業を重点化事業とします。</p> <p>国及び県は、民間保育所への補助を行っていることから、本町においても民間委託・民間移管を検討し、民間保育所等への補助等の充実を図るとともに、財政負担等の見直しを目指します。</p>
協働の進め方	<p>多様な子育て支援事業を展開するため、総合子育て支援センターや児童館を地域の居場所とし、日常的に交流がしやすい環境や、身近なところで相談しやすい体制を整備していきます。</p>

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり			項	1 次世代育成			掲載	50	頁		
	施策	1 子ども支援			取組	1 保育環境の充実							
事業名		保育園運営事業			SDGs	1、4、17							
担当課		健康福祉部 児童課 保育係											
目的	誰を・何を(対象)	保育所を利用する0歳から5歳の子ども及び子どもの保護者											
	どのようにしたいか(意図)	子ども:子どもの育ちが第一に考えられ、健やかに安心して成長できるようにします。 保護者:仕事と子育てが両立できるようにします。											
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額			2022(R4) 年度決算額 対前年比(%)			2023(R5) 年度予算額 対前年比(%)					
		339,805			347,836 102%			365,673 105%					
財源内訳	国・県支出金	4,716			1,002 21%			1,923 192%					
	受益者負担	31,618			29,524 93%			31,718 107%					
	その他特定財源	13,382			13,353 100%			13,060 98%					
	一般財源	290,089			303,957 105%			318,972 105%					
職員数(人)		3.90			3.88 99%			3.06 79%					
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)		2021(R3)			2022(R4)			単位			
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値		達成率		
指標①		保育所等利用待機児童数									人		
		0	0	100%	0	0	100%	0	0	100%			
指標②		不審者の侵入件数									件		
		0	0	100%	0	0	100%	0	0	100%			
主な事業内容		<ul style="list-style-type: none"> ・通常保育 月～土 午前8時～午後4時※土曜日保育は緒川と石浜で実施。 ・早朝保育 午前7時30分～午前8時(森岡保育園以外で実施:認定児) ・延長保育 午後4時～午後7時(森岡保育園及び生路保育園以外で実施:認定児) ※園によって延長時間が異なります。 ・祝日保育 午前7時30分～午後6時(緒川保育園で実施:認定児) ・一時保育 非定型保育、緊急保育、リフレッシュ保育 ・不審者の侵入対策のため、生活安全指導員を配置し、園児等の安全を確保 											
成果		<p>主な事業内容を適切に実施することによって、子どもが健やかに安心して成長できる環境が確保できました。</p> <p>【在籍園児数】(4月1日時点):1,337人 【職員体制】(4月1日時点) 242人(内訳)正規職員 132人、非常勤職員 152人 【保育所生活安全指導員配置回数】:1,848回</p>											
課題		<p>働き方や保育を必要とする状況が変化するなか、早朝延長保育の利用者増、乳児保育利用者増など安定した保育サービスを提供をしていく上で、町立保育園だけで対応していくことは困難です。</p> <p>運営費については、国及び県からの民間保育所等への補助はありますが、町立保育園への補助がないため、財政負担は大きい状況です。多様化する保育ニーズに対応するため、民間委託及び民間移管を含めて検討していく必要があります。</p>											
評価視点								総合評価					
必要性			有効性			効率性			A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しを検討 D:事業の統合・休廃止を検討				
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	A	
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等									
成果の方向性	拡充											・一時保育のうち緊急及びリフレッシュ保育について、2023(R5)年度に石浜地区において新たに開設した私立認可保育所へ業務を移管しました。1か月に利用できる日数が増えたことによりサービスが向上されました。	
	現状維持			○								・現在、町立保育園で行っている祝日保育等の業務を、民間保育所へ移管することを検討し、官民連携を目指します。	
	縮小												
	休廃止												
		皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性							

事業名		担当課			児童課 保育係			
No.	細事業名	概要			2022(R4) 年度 決算額 (千円)	2023(R5) 年度 予算額 (千円)	今後の方向性	
		対象	手段	意図			成果	コスト
1	保育園運営事業	子ども(0歳から5歳)及び子どもの保護者	・適正な保育園運営の推進すること ・「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)」の考え方の浸透させることで	・子どもが健やかに安心して成長できる保育環境を充実させます。 ・保護者が仕事と子育てが両立できる環境を促進します。	343,610	361,252	現状維持	現状維持
2	保育所生活安全指導員配置事業	公立保育園に在籍する園児	不審者の侵入対策のため、生活安全指導員を配置することで	子どもが健やかに安心して成長できるようにします。	4,226	4,421	現状維持	現状維持
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
事務事業合計					347,836	365,673	現状維持	現状維持

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	1 次世代育成	掲載	50	頁					
	施策	1 子ども支援	取組	1 保育環境の充実								
事業名		保育等給付事業		SDGs	1、4、17							
担当課		健康福祉部 児童課 保育係										
目的	誰を・何を(対象)	保育所等を利用する0歳から5歳の子ども及び子どもの保護者										
	どのようにしたいか(意図)	事業所に給付することで、0歳から2歳児の年度途中の保育園入園を可能にするとともに市町村域を超えた広域利用をできるようにします。										
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額	2022(R4) 年度決算額	対前年比(%)	2023(R5) 年度予算額	対前年比(%)						
		137,043	294,803	215%	217,904	74%						
財源内訳	国・県支出金	99,180	198,598	200%	155,547	78%						
	受益者負担	0	0	0	5,340	0						
	その他特定財源	0	0	0	0	0						
	一般財源	37,863	96,205	254%	57,017	59%						
職員数(人)		0.52	0.84	162%	0.84	100%						
主な事業実績(評価指標)	2020(R2)			2021(R3)			2022(R4)			単位		
	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率			
指標①	施設型給付及び地域型保育給付の対象事業所の延べ利用人数									人		
	1,832	1,900	96%	1,946	1,950	100%	2,100	2,000	105%			
指標②	保育所等利用待機児童数									人		
	0	0	100%	0	0	100%	0	0	100%			
主な事業内容		施設型給付(保育所及び認定こども園等)及び地域型保育給付(小規模保育、家庭的保育、居宅訪問保育及び事業所内保育)により、事業所への財政支援										
成果		<p>下記の事業所に給付費を支払い、利用者に多様な保育サービスを提供してもらうことで、待機児童対策を行いました。</p> <p>【施設型給付】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定こども園「東ヶ丘幼稚園」(東浦町) ・認定こども園「パレットこども園」(大府市) ・認定こども園「明佳幼稚園」(東海市) ・認定こども園「ジーニアス幼稚園」(大府市) ・うぐいす学園(名古屋市港区) ・共生保育園(佐賀県鹿島市※広域入所) <p>【地域型保育給付】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所内保育事業所「夢ハウスめどっこ保育所」(東浦町) ・事業所内保育事業所「大同保育室おひさま」(名古屋市) <p>【対象】</p> <p>施設型給付 延べ1,901名 地域型保育給付 延べ199名</p>										
課題		国及び県からの民間保育所への補助メニューは、本町の民間保育所が求めるものとは異なるものもあるため、町単独で補助を考える必要があります。										
評価視点							総合評価					
必要性			有効性			効率性			A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しを検討 D: 事業の統合・休廃止を検討			
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	C
			○									
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等								
成果の方向性	拡充											<p>・認可事業所において、今後も継続して利用者の受け入れが見込まれます。継続して事業所に対し財政支援を行う必要性は高く、今後も0歳児から2歳児の年度途中の受け入れ枠を確保し、待機児童対策を講じ、市町村域を超えた広域利用など多様な保育サービスを支援します。</p> <p>・2023(R5)年度に石浜地区において、新たに民間認可保育所が開設しました。今後、多様化する保育サービスを町立保育園だけで提供していくことは困難です。官民連携していくため、民間認可保育所への補助の充実を検討していきます。</p>
	現状維持											
	縮小											
	休廃止											
コスト投入の方向性		皆減	縮小	現状維持	拡大							

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	1 次世代育成	掲載	50	頁			
	施策	1 子ども支援	取組	2 子育てを支える環境の充実						
事業名		子育て支援事業		SDGs	4、5、17					
担当課		健康福祉部 児童課 児童福祉係								
目的	誰を・何を(対象)	子育て世帯の保護者								
	どのようにしたいか(意図)	<ul style="list-style-type: none"> ・家事又は育児の負担軽減を図ります。 ・育児放棄や児童虐待の防止を図ります。 ・子どもが病気になる場合も安心して働くことができる環境の整備を図ります。 								
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額	2022(R4) 年度決算額	対前年比(%)	2023(R5) 年度予算額	対前年比(%)				
		3,308	4,201	127%	7,207	172%				
財源内訳	国・県支出金	250	2,828	1131%	3,354	119%				
	受益者負担	306	418	137%	500	120%				
	その他特定財源	0	0	0	0	0				
	一般財源	2,752	955	35%	3,353	351%				
職員数(人)		1.61	1.18	73%	1.18	100%				
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)		2021(R3)		2022(R4)		単位		
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率			
指標①		病児・病後児保育の利用児童数						人		
		29	-	-	142	-	-		70	-
指標②		-								
主な事業内容		<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援ヘルパー派遣事業 ・子育て短期支援事業 ・病児・病後児保育事業 								
成果		<ul style="list-style-type: none"> ・子育てヘルパー派遣利用者20名、子育て短期支援利用者1名 ・出産前後など、身体的・精神的な負担の大きい時期に育児や家事に関する支援や助言をすることで、保護者の負担軽減と乳幼児の健全育成、育児放棄や児童虐待防止につなげました。 ・病児・病後児保育事業は、子育て家庭において、就労と家庭を両立させる一助となる事業であることから、事業効果は高いと考えます。 								
課題		<ul style="list-style-type: none"> ・子育て短期支援事業について、支援が必要な時に委託先施設が満員で受け入れできない場合があります。 ・各支援制度の認知度が低い可能性があります。 ・直営の病児・病後児保育事業の利用者が多くないなか、行政の役割を見直し、民間や広域的な力の活用を検討する必要があります。 								
評価視点						総合評価				
必要性		有効性		効率性		A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しを検討 D:事業の統合・休廃止を検討				
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い			
			○				○			
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等						
成果の方向性	拡充				<ul style="list-style-type: none"> ・各支援制度の周知徹底と支援が必要な家庭の話聞きとりながら状況を把握し、育児放棄や児童虐待防止につなげていきます。 					
	現状維持			○	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て短期支援事業について、必要な支援を必要な時に実施できるよう、委託先施設と支援内容等を協議していきます。 					
	縮小				<ul style="list-style-type: none"> ・医師が近くにいる医療併設型が病児・病後児期の児童を安全に受け入れる望ましい運営だと考えています。また、近隣市町の医療併設型も視野に入れ、引き続き委託方式や広域利用を検討していきます。 					
	休廃止									
		皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性				

事業名		担当課			児童課 児童福祉係 保育係			
No.	細事業名	概要			2022(R4) 年度 決算額 (千円)	2023(R5) 年度 予算額 (千円)	今後の方向性	
		対象	手段	意図			成果	コスト
1	子育てヘルパー派遣事業	妊婦又は乳幼児のいる母親等	体調不良等により家事又は育児が困難な世帯にヘルパーを派遣することで	家事又は育児の負担を軽減させます。	3,848	4,666	現状維持	現状維持
2	子育て短期支援事業	18歳未満の児童及び当該児童の保護者(状態要件有)	児童福祉施設において、一時的に養育又は保護することで	精神的、身体的負担を緩和させます。	22	70	現状維持	現状維持
3	病児・病後児保育事業	病期中及び病気回復期で、保育園や小学校等集団生活が出来ない生後6か月から小学校3年生までの児童の保護者	病児・病後児保育事業を実施することで	子どもが病気になった場合も安心して働くことができるようにさせます。	331	2,471	現状維持	現状維持
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
事務事業合計					4,201	7,207	現状維持	現状維持

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり			項	1 次世代育成			掲載	50 頁		
	施策	1 子ども支援			取組	2 子育てを支える環境の充実						
事業名		児童手当給付事業			SDGs	4、5、17						
担当課		健康福祉部 児童課 児童福祉係										
目的	誰を・何を(対象)	中学校修了前の児童を養育する保護者										
	どのようにしたいか(意図)	児童を養育する家庭や施設の子育てにかかる負担を軽減することで、児童の家庭等における生活の安定及び次代の社会を担う児童の健やかな成長を促進します。										
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額			2022(R4) 年度決算額 対前年比(%)			2023(R5) 年度予算額 対前年比(%)				
		851,336			836,032 98%			834,694 100%				
財源内訳	国・県支出金	721,227			709,750 98%			707,246 100%				
	受益者負担	0			0 0			0 0				
	その他特定財源	0			0 0			0 0				
	一般財源	130,109			126,282 97%			127,448 101%				
職員数(人)		0.87			0.87 100%			0.87 100%				
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)			2021(R3)			2022(R4)			単位	
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率		
指標①		児童手当延べ支給人数									人	
		79,982	-	-	79,808	-	-	78,004	-	-		
指標②		-										
主な事業内容		中学校終了前の児童を養育している者及び施設に児童手当・特例給付を支給										
成果		児童手当として、対象児童延べ人数78,004人に833,990,000円を支給し、子育て世帯等の経済的、精神的な負担軽減を図ることができました。										
課題		住民の負担軽減や新型コロナウイルス感染拡大防止等の観点から、電子や郵送による手続きを推進する必要があります。										
評価視点								総合評価				
必要性				有効性				効率性				
			○				○				○	A
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等								
成果の方向性	拡充											マイナポータルへの運用も始まっていることから、マイナポータルの利用や郵送手続きの周知に努めます。 国が児童手当制度の改正を検討しているため、その動向を注視していきます。
	現状維持			○								
	縮小											
	休廃止											
		皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性						

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり			項	1 次世代育成		掲載	50	頁	
	施策	1 子ども支援			取組	2 子育てを支える環境の充実					
事業名		地域交流事業			SDGs	4、5、17					
担当課		健康福祉部 児童課 保育係									
目的	誰を・何を(対象)	0歳から5歳の子ども及び子どもの保護者									
	どのようにしたいか(意図)	親子で一緒に遊びを体験することを通して、遊びの楽しさや子どもとの関わり方を知ってもらい、同じような子育ての立場にある親同士が、日頃感じていることを話し合い、子育ての悩みを解消してもらいます。									
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額			2022(R4) 年度決算額		対前年比(%)		2023(R5) 年度予算額		対前年比(%)
		626			644		103%		645		100%
財源内訳	国・県支出金	0			0		0		0		0
	受益者負担	0			0		0		0		0
	その他特定財源	0			0		0		0		0
	一般財源	626			644		103%		645		100%
職員数(人)		0.04			0.04		100%		0.04		100%
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)			2021(R3)			2022(R4)			単位
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	
指標①		地域交流事業参加者数									人
		5,092	8,000	64%	2,659	8,000	33%	4,213	8,000	53%	
指標②		-									
主な事業内容		<p>保育園の園庭を解放して、遊び場の提供をすることで親子の交流と親同士の育児相談の機会や情報交換を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象: 0歳から未就園児とその家族 ・実施場所及び時間 公立保育園8園 月2~3回程度 毎週水曜日開催 午前9時から午前11時までのうち、1時間から1時間30分 									
成果		<p>保護者同士で情報交換ができる環境を整備し、保護者が保育士による子育てアドバイスを受けることができました。同じ子育て環境の立場にある保護者同士が、日頃感じていることを話し合うことで、子育ての悩みを解消しました。また、地域交流を実施することにより、入園前の同年代の子を持つ親に、交流の場を提供することができました。</p> <p>【町内8園全体実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数: 200回 ・参加状況: 大人1,961人、子ども2,252人 計4,213人(1回平均: 21人) <p>※上記の他、高齢者(東楽会)との交流を緒川保育園で年7回実施しました。</p>									
課題		少子化や核家族化が進み、子育て環境も変化した。子育てに不安を抱える保護者がいることから、育児不安の解消と未就園児に集団生活を体験させる機会を継続的に作る必要があります。									
評価視点								総合評価			
必要性				有効性				効率性			
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い
								A			
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等							
成果の方向性	拡充										
	現状維持				○						
	縮小										
	休廃止										
		皆減	縮小	現状維持	拡大	各園30回程度/年を予定している地域交流事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により、2021(R3)年度は16回程度/園、2022(R4)年度は25回程度/園と、回数を減らして実施しました。1回あたりの平均参加人数は、2021(R3)年度は20人、2022(R4)年度は21人であることから、2023(R5)年度は予定どおり実施することで、参加人数の上昇を見込んでいます。引き続き、交流の場の機会を継続して提供していきます。					
		コスト投入の方向性									

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり			項	1 次世代育成			掲載	50 頁	
	施策	1 子ども支援			取組	2 子育てを支える環境の充実					
事業名		児童館維持管理事業			SDGs	4、5、17					
担当課		健康福祉部 児童課 児童福祉係									
目的	誰を・何を(対象)	児童館									
	どのようにしたいか(意図)	施設や設備の点検、購入を行い、事故を未然に防止します。									
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額			2022(R4) 年度決算額 対前年比(%)			2023(R5) 年度予算額 対前年比(%)			
		12,049			13,021 108%			15,740 121%			
財源内訳	国・県支出金	426			0 0%			0 0			
	受益者負担	0			0 0			0 0			
	その他特定財源	41			38 93%			50 132%			
	一般財源	11,582			12,983 112%			15,690 121%			
職員数(人)		0.20			0.20 100%			0.20 100%			
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)			2021(R3)			2022(R4)			単位
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	
指標①		児童館数									館
		7	-	-	7	-	-	7	-	-	
指標②		-									
主な事業内容		施設整備及び備品等の保全管理									
成果		下記の事業を適切に実施することによって、事故や児童のけがなどを未然に防ぐことができました。 ・備品購入 ・床ガラス清掃 ・防犯警備 ・空調設備保守点検 ・遊具施設保守点検									
課題		空調機器の交換部品の製造中止や修理不可能な物品も多く、修繕対応ではなく機器そのものの交換が必要となることが多く増えており、今後コストが増加する可能性があります。									
評価視点							総合評価				
必要性			有効性			効率性			A		
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い
今後の方向性							事業の改善点・今後の具体的な取組等				
成果の方向性	拡充						費用対効果を精査し、適切な維持管理に努めていきます。				
	現状維持			○							
	縮小										
	休廃止										
		皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性					

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり			項	1 次世代育成			掲載	50 頁		
	施策	1 子ども支援			取組	2 子育てを支える環境の充実						
事業名		児童館運営事業			SDGs	4、5、17						
担当課		健康福祉部 児童課 児童福祉係										
目的	誰を・何を(対象)	子育て世帯の保護者及び子ども										
	どのようにしたいか(意図)	地域の子育て環境を充実させることにより、子どもの健全育成を図るとともに、保護者及び子どもが一緒に楽しめる交流の場を提供します。										
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額			2022(R4) 年度決算額 対前年比(%)			2023(R5) 年度予算額 対前年比(%)				
		75,241			75,455 100%			88,605 117%				
財源内訳	国・県支出金	39,117			40,150 103%			32,160 80%				
	受益者負担	31,947			35,009 110%			32,681 93%				
	その他特定財源	0			0 0			0 0				
	一般財源	4,177			296 7%			23,764 8028%				
職員数(人)		0.59			0.59 100%			0.59 100%				
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)			2021(R3)			2022(R4)			単位	
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率		
指標①		児童館利用者数									人	
		95,245	134,000	71%	120,080	134,000	90%	136,290	134,000	102%		
指標②		-										
主な事業内容		<ul style="list-style-type: none"> ・健全な遊びを通じた児童の集団的及び個別的指導 ・放課後の子どもの居場所づくり ・親と子の交流活動 										
成果		<ul style="list-style-type: none"> ・児童館年間延べ利用者数136,290人 ・児童クラブ在籍人数535人 ・母親クラブ補助実績283,825円 ・放課後等の子どもたちの安全で健やかな活動場所が確保され、地域との一体化が図れました。 ・放課後利用だけでなく、0歳から就学前の親子を対象とした子育て支援事業も実施し、幅広い世代の活動の場となりました。 										
課題		<p>現在、片葩小学校の一室を児童クラブ室として利用していますが、小学校の一室を利用することで、児童館への移動がなくなり、防犯面や交通安全面のリスクが低くなるなどのメリットがあるため、他小学校においても事業実施の可能性を検討する必要があります。</p> <p>児童クラブを含めた児童館運営事業について、事業費縮減を目的とした指定管理者制度や民間委託などを検討する余地があります。</p>										
評価視点								総合評価				
必要性			有効性			効率性		A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しを検討 D:事業の統合・休廃止を検討				
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	B
			○									
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等								
成果の方向性	拡充											<ul style="list-style-type: none"> ・親子、高齢者、地域とのつながりなど多世代交流に対応できるよう、活動内容の見直しを行い、児童館事業として更なる充実化を図っていきます。 ・民間委託等も検討しながら、教育委員会、小学校と協議を続け、児童館外での児童クラブの実施や児童館、児童クラブの在り方を検討していきます。
	現状維持			○								
	縮小											
	休廃止											
		皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性						

事業名		児童館運営事業		担当課	児童課 児童福祉係			
No.	細事業名	概要			2022(R4) 年度 決算額 (千円)	2023(R5) 年度 予算額 (千円)	今後の方向性	
		対象	手段	意図			成果	コスト
1	児童館運営事業	町内の7児童館の利用者	児童館を利用してもらうことで	遊びを通じた児童の健全育成や地域の子育て環境づくりを推進します。	38,022	44,670	現状維持	現状維持
2	児童クラブ事業	町内小学校に在学する昼間留守家庭の小学校1年生から6年生までの児童	児童クラブを利用してもらうことで	適切な遊び方や生活の場を通じた子どもの居場所づくりを行います。	37,149	43,623	現状維持	現状維持
3	団体補助事業(児童館母親クラブ)	東浦町母親クラブ	会員相互の情報交換やサークル活動を行うことで	地域に根差した児童健全育成及び子育て支援を図ります。	284	312	現状維持	現状維持
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
事務事業合計					75,455	88,605	現状維持	現状維持

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	1 次世代育成	掲載	50	頁
	施策	1 子ども支援	取組	2 子育てを支える環境の充実			

事業名		児童館施設整備事業			SDGs		4、5、17	
担当課		健康福祉部 児童課 児童福祉係						
目的	誰を・何を(対象)	児童館						
	どのようにしたいか(意図)	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽箇所を早期に修繕することにより、児童等の安全を確保します。 ・計画的な修繕を実施し、施設の長寿命化を図ります。 						
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額		2022(R4) 年度決算額 対前年比(%)		2023(R5) 年度予算額 対前年比(%)		
		16,047		1,571 10%		1,727 110%		
財源内訳	国・県支出金	8,443		0 0%		0 0		
	受益者負担	0		0 0		0 0		
	その他特定財源	0		0 0		0 0		
	一般財源	7,604		1,571 21%		1,727 110%		
職員数(人)		0.35		0.35 100%		0.35 100%		
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)		2021(R3)		2022(R4)		単位
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	
指標①		整備を行う児童館数						館
		7	-	-	7	-	-	
指標②		-						
主な事業内容		<ul style="list-style-type: none"> ・施設修繕 ・施設改修工事 						
成果		<p>下記の事業等を適切に実施することによって、事故等の未然防止及び利用者の利便性向上につなげました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緒川新田児童館消防設備修繕 ・石浜児童館遊戯室壁修繕 ・石浜西児童館トイレ照明センサー修繕 他 						
課題		施設の老朽化に伴い、修繕箇所等が増加傾向にあります。						

評価視点										総合評価						
必要性				有効性				効率性				A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しを検討 D: 事業の統合・休廃止を検討				
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い					A
			○				○				○					
今後の方向性					事業の改善点・今後の具体的な取組等											
成果の方向性	拡充				町内の児童館は建築後20年を経過したものが多く、計画的な修繕を実施し、建物を安全・安心な状態に保ちます。 また、施設の充実を図り、施設利用者が快適に施設を利用できることを目的とした改修についても計画的に行います。											
	現状維持			○												
	縮小															
	休廃止															
		皆減	縮小	現状維持	拡大											
		コスト投入の方向性														

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	1 次世代育成	掲載	50	頁	
	施策	1 子ども支援	取組	2 子育てを支える環境の充実				
事業名		なかよし学園運営事業		SDGs	4、5、17			
担当課		健康福祉部 児童課 児童福祉係						
目的	誰を・何を(対象)	言葉の発達の遅い子や体力のない子等及びその保護者						
	どのようにしたいか(意図)	児童発達支援を行い、日常生活に必要な基本的な生活習慣や集団生活への適応を図ります。						
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額	2022(R4) 年度決算額	対前年比(%)	2023(R5) 年度予算額	対前年比(%)		
		21,231	24,413	115%	28,150	115%		
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0		
	受益者負担	0	0	0	0	0		
	その他特定財源	13,863	15,414	111%	16,976	110%		
	一般財源	7,368	8,999	122%	11,174	124%		
職員数(人)		0.85	0.85	100%	0.85	100%		
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)		2021(R3)		2022(R4)		単位
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	
指標①		なかよし学園利用登録者数						人
		37	-	-	32	-	-	
指標②		通常園への移行児童数						人
		21	-	-	16	-	-	
主な事業内容		<ul style="list-style-type: none"> ・言語訓練(月2回) ・発達相談(月1回) ・作業療法士による作業療法訓練(月1回) ・理学療法士による理学療法訓練(必要に応じて) ・心理士による個別相談(毎月) 						
成果		<p>障がい児の増加に伴い、入園希望者の登録は増加傾向にありますが、障がい児に合わせた療育を支障なく行うことができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用登録者数:32人 ・2022(R4)年度延べ利用者数:4,457人 						
課題		施設の老朽化、町道吉田線の道路拡幅計画及び森岡地区で土地区画整理の事業化の検討が行われていることを踏まえ、森岡保育園、森岡西保育園の統廃合、複合化等について検討する必要があります。						
評価視点					総合評価			
必要性		有効性		効率性		A		
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等				
成果の方向性	拡充				<ul style="list-style-type: none"> ・園児一人ひとりの症状に合わせた訓練、指導ができるよう職員の専門性を高めていきます。 ・森岡保育園、森岡西保育園の統廃合と合わせて、施設及び機能の再配置を検討していきます。 			
	現状維持			○				
	縮小							
	休廃止							
		皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性		

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	1 次世代育成	掲載	50	頁				
	施策	1 子ども支援	取組	2 子育てを支える環境の充実							
事業名		総合子育て支援センター維持管理事業		SDGs	4、5、17						
担当課		健康福祉部 児童課 児童福祉係									
目的	誰を・何を(対象)	総合子育て支援センター									
	どのようにしたいか(意図)	施設や設備の点検を行うことで事故を未然に防止し、また、施設改修や設備の更新を計画的に進めることで長寿命化を図ります。									
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額	2022(R4) 年度決算額	対前年比(%)	2023(R5) 年度予算額	対前年比(%)					
		6,573	8,072	123%	11,018	136%					
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0					
	受益者負担	0	0	0	0	0					
	その他特定財源	10	11	110%	10	91%					
	一般財源	6,563	8,061	123%	11,008	137%					
職員数(人)		0.07	0.07	100%	0.07	100%					
主な事業実績(評価指標)	2020(R2)		2021(R3)			2022(R4)			単位		
	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値		達成率	
指標①	総合子育て支援センター数									箇所	
	1	-	-	1	-	-	1	-	-		
指標②	-										
主な事業内容		施設整備及び備品等の保全管理									
成果		<p>下記の事業を実施しました。適切に実施することで事故やけがを 방지、安全に利用いただくことができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防用設備保守点検 ・床ガラス清掃 ・電気設備保守点検 ・防犯等警備業務 ・空調設備保守点検 他 									
課題		<p>建築から10年が経過し、経年劣化による不良、規格変更等に伴う取り替えが必要なことが出てくると予想されます。</p> <p>原油価格高騰に伴い、電気料金が高騰しています。</p>									
評価視点						総合評価					
必要性			有効性			効率性			A		
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い
今後の方向性						事業の改善点・今後の具体的な取組等					
成果の方向性	拡充					<p>経年劣化により不良が出ている備品等があります。今後も施設及び備品の修繕、交換をしていきます。また、法に基づいた定期保守点検をしている機器以外にも専門性を有する点検が必要なものもあるため、今後も内容を精査し、維持管理に努めていきます。</p> <p>電気料金が高騰していますが、子どもの安心安全な環境を守るため、適正な電力使用に努めます。</p>					
	現状維持			○							
	縮小										
	休廃止										
		皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性					

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり			項	1 次世代育成			掲載	50 頁		
	施策	1 子ども支援			取組	2 子育てを支える環境の充実						
事業名		総合子育て支援センター運営事業				SDGs	4、5、17					
担当課		健康福祉部 児童課 児童福祉係										
目的	誰を・何を(対象)	子育て中の親子を中心とした地域住民										
	どのようにしたいか(意図)	日常的に交流ができるような環境づくりに努め、地域子育て支援拠点を充実させ、育児不安を軽減させます。										
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額			2022(R4) 年度決算額 対前年比(%)			2023(R5) 年度予算額 対前年比(%)				
		863			968 112%			1,168 121%				
財源内訳	国・県支出金	0			0 0			0 0				
	受益者負担	0			0 0			0 0				
	その他特定財源	0			0 0			0 0				
	一般財源	863			968 112%			1,168 121%				
職員数(人)		0.08			0.08 100%			0.08 100%				
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)			2021(R3)			2022(R4)			単位	
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率		
指標①		子育て相談件数									件	
		349	-	-	334	-	-	407	-	-		
指標②		-										
主な事業内容		【子育て相談】子育て支援センター職員・保健師・栄養士・歯科衛生士・公認心理師・言語聴覚士による相談受付 【情報提供】うらんだより「このゆびと～まれ」子育て情報誌「たのしく子育て」 【乳児健診事後フォロー教室】きりんの会・こぐまの会・らっこの会										
成果		ひろば内でスタッフに相談し子育てに関するちょっとした困りごとを解消したり、専門職による相談を受け今後の方向性を見出したり、子育て世帯の育児不安を軽減させることができました。 ・子育て相談件数407件 ・乳児健診事後フォロー教室講話5回 ・「前向きな気持ちになれた」「自分の迷いがなくなった」「話したことを試してみたい」等、相談者から意見をいただくことができました。										
課題		子育て支援センター利用者が前年度より回復傾向にあり、それに伴い、相談件数も増加しています。子育て支援センターは安心して利用していただける場所であることをPRし、利用者の増加を目指す必要があります。										
評価視点								総合評価				
必要性				有効性				効率性				
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	A
			○				○				○	
今後の方向性						事業の改善点・今後の具体的な取組等						
成果の方向性	拡充					・子育て情報誌は2022(R4)年度に印刷数を増やしたことで、要望のある関係機関に配布することができています。今後もニーズと実態に合った供給ができるようにしていきます。 ・専門職の相談事業は関係機関への掲示、広報紙への掲載等で利用したい方の目に留まるようにしています。引き続き、保育園や児童館、学校等と連携をとり子育て世帯の不安解消に努めます。						
	現状維持			○								
	縮小											
	休廃止											
		皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性						

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり			項	1 次世代育成			掲載	50 頁		
	施策	1 子ども支援			取組	2 子育てを支える環境の充実						
事業名		つどいの広場事業運営事業			SDGs	4、5、17						
担当課		健康福祉部 児童課 児童福祉係										
目的	誰を・何を(対象)	未就学の子ども及びその保護者										
	どのようにしたいか(意図)	子育ての情報や気分転換できる場の提供をすることで、育児不安の軽減や子育ての仲間づくりを促進します。										
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額			2022(R4) 年度決算額 対前年比(%)			2023(R5) 年度予算額 対前年比(%)				
		7,270			7,646 105%			18,349 240%				
財源内訳	国・県支出金	3,334			3,500 105%			10,196 291%				
	受益者負担	0			0 0			0 0				
	その他特定財源	0			0 0			0 0				
	一般財源	3,936			4,146 105%			8,153 197%				
職員数(人)		0.06			0.06 100%			0.06 100%				
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)			2021(R3)			2022(R4)			単位	
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率		
指標①		つどいの広場事業来所者数									人	
		18,965	-	-	15,469	-	-	22,229	-	-		
指標②		-										
主な事業内容		<ul style="list-style-type: none"> ・つどいの広場(親子の交流場所)提供 ・育児講座 ・子育てサロン 										
成果		<p>下記の事業などを実施することによって、子育て世帯の育児不安を軽減させることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育児講座13回開催、参加者150世帯 ・子育てサロン40回開催、参加者130世帯 ・マタニティサロン6回開催、参加者9世帯 										
課題		講師と相談しながら定員を設定していますが、定員を上回る申し込みとなった会がありました。参加者同士のつながりができ、サロン終了後に連れだって支援センターを利用する姿があります。子育て世代の仲間づくりや不安軽減を図るために講座やサロンの内容を見直しする必要があります。										
評価視点								総合評価				
必要性				有効性				効率性				A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しを検討 D: 事業の統合・休廃止を検討
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等								
成果の方向性	拡充											○
	現状維持											
	縮小											
	休廃止											
		皆減	縮小	現状維持	拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き育児講座、サロンはアンケートを実施したうえで開催します。 ・より多くの方に参加していただけるよう考慮しながら、内容や部屋の広さに応じた定員を設定していきます。 ・開催については、ホームページやセンター内での掲示、広報紙で周知しています。町立保育園保護者に育児講座に関するアンケートを実施した際、支援センターで実施している事業内容を記載したちらしを配付しました。今後も周知の工夫をし、利用促進していきます。 ・2023(R5)年度に民間保育園に対し、地域子育て支援拠点事業(つどいの広場)を新たに委託します。総合子育て支援センター(うららん)と連携を取りながら、地域の子育て支援機能の充実を図ります。 						
		コスト投入の方向性										

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	1 次世代育成	掲載	50 頁						
	施策	1 子ども支援	取組	2 子育てを支える環境の充実								
事業名		ファミリーサポートセンター事業		SDGs 4、5、17								
担当課		健康福祉部 児童課 児童福祉係										
目的	誰を・何を(対象)	町内在住・在勤で生後6か月から小学6年生までの子どもの保護者										
	どのようにしたいか(意図)	子育ての応援をしてほしい方と応援したい方をマッチングさせ、子どもの保護者を支援します。										
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額	2022(R4) 年度決算額 対前年比(%)	2023(R5) 年度予算額 対前年比(%)								
		3,977	3,991 100%	4,115 103%								
財源内訳	国・県支出金	1,843	1,871 102%	1,908 102%								
	受益者負担	0	0 0	0 0								
	その他特定財源	0	0 0	0 0								
	一般財源	2,134	2,120 99%	2,207 104%								
職員数(人)		0.06	0.06 100%	0.06 100%								
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)		2021(R3)		2022(R4)		単位				
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率					
指標①		活動件数						件				
		1,248	-	-	834	-	-		986	-	-	
指標②		ステップアップ講習会						回				
		4	-	-	3	-	-		4	-	-	
主な事業内容		<ul style="list-style-type: none"> ・子育ての援助を受けたい方(依頼会員)と子育ての援助をしたい方(援助会員)のマッチング調整 ・ステップアップ講習会(活動に必要な知識を得る、会員同士の交流)の開催 										
成果		<ul style="list-style-type: none"> ・会員数: 援助会員69人、依頼会員219人、両方会員37人 計325人 ・利用者延べ人数986人 ・利用者延べ人数は前年度比で約150人増加しています。 ・会員登録し、実際には利用のない方が年度末に退会したため会員数は減っていますが、いざというときに頼れるところがあるという安心感につながっています。 										
課題		<ul style="list-style-type: none"> ・ごく一部ですが、急な依頼が続いたり、ルールを守らなかったりする会員もいます。 ・依頼会員に対し援助会員が少ないため、援助会員の増加を図る必要があります。 										
評価視点						総合評価						
必要性			有効性			効率性			A			
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い		やや低い	やや高い	高い
			○				○					○
今後の方向性						事業の改善点・今後の具体的な取組等						
成果の方向性	拡充					<ul style="list-style-type: none"> ・子育てを地域で支え合うために必要な事業です。必要とする方に情報を届けられるよう、今後も保育園入園、児童クラブ入会等のタイミングで情報提供をしていきます。 ・援助会員が増加することで活動が安定するため、会員同士の交流、新規会員の獲得に向け交流会を実施します。 ・活動に必要な知識向上のための講習会を開催します。講習会について会報への掲載に加え、援助依頼時に知らせ多くの会員に参加していただき、より充実した活動となるようにしていきます。 						
	現状維持			○								
	縮小											
	休廃止											
コスト投入の方向性		皆減	縮小	現状維持	拡大							

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	1 次世代育成	掲載	50 頁				
	施策	1 子ども支援	取組	2 子育てを支える環境の充実						
事業名		子育て世代包括支援センター運営事業		SDGs	4、5、17					
担当課		健康福祉部 児童課 児童福祉係								
目的	誰を・何を(対象)	妊娠期から子育て期の住民								
	どのようにしたいか(意図)	妊娠・出産・子育てに関する様々な相談に応じることで、妊娠から子育て期の切れ目ない支援を行い、育児不安を軽減し安心して過ごせるようにします。								
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額	2022(R4) 年度決算額	対前年比(%)	2023(R5) 年度予算額	対前年比(%)				
		2,036	2,197	108%	2,269	103%				
財源内訳	国・県支出金	1,484	1,535	103%	1,535	100%				
	受益者負担	0	0	0	0	0				
	その他特定財源	0	0	0	0	0				
	一般財源	552	662	120%	734	111%				
職員数(人)		0.06	0.06	100%	0.06	100%				
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)		2021(R3)		2022(R4)		単位		
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率			
指標①		相談件数(基本型) 来所・電話・出張 合計						件		
		278	-	-	292	-	-		346	-
指標②		相談件数(母子保健型) 来所・電話 合計						件		
		232	-	-	302	-	-		382	-
主な事業内容		<ul style="list-style-type: none"> ・妊産婦及び乳幼児の実情の把握 ・妊娠、出産、子育てに関する各種相談に応じ必要な情報提供、助言、保健指導を実施 ・支援プラン作成 ・保健医療又は福祉関係者との連絡調整 ・母子保健事業 ・子育て支援事業 								
成果		<p>利用者支援専門員等が各種相談を受けることで、育児不安の軽減が図ることができました。</p> <p>相談件数 基本型 来所・電話 254件 出張 92件 合計 346件 母子保健型 来所・電話 382件 支援プラン作成 548件</p>								
課題		相談業務において、利用者のニーズが幅広いため、病院や民間の事業者等と連携し、広い視野を持って情報収集をすることが必要です。								
評価視点						総合評価				
必要性		有効性		効率性		A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しを検討 D: 事業の統合・休廃止を検討				
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	A		
			○				○			
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等						
成果の方向性	拡充						<p>利用者の思いを受け止め、必要な情報提供をできるようにします。保健センター、町立保育園とは連携をとっていますが、今後も強化していきます。民間の保育園へは利用者支援専門員が出張する等、日頃から連絡を取り合うことで必要時に連携をとれる関係性を築いていきます。</p>			
	現状維持			○						
	縮小									
	休廃止									
		皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性				

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり			項	1 次世代育成			掲載	50	頁
	施策	1 子ども支援			取組	3 保育環境の確保					
事業名		保育園維持管理事業			SDGs	4、5、17					
担当課		健康福祉部 児童課 保育係									
目的	誰を・何を(対象)	保育園									
	どのようにしたいか(意図)	適切に施設整備及び備品等の保安全管理を行い、保育環境を確保します。									
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額		2022(R4) 年度決算額		対前年比(%)		2023(R5) 年度予算額		対前年比(%)	
		55,089		62,990		114%		70,481		112%	
財源内訳	国・県支出金	741		0		0%		0		0	
	受益者負担	0		0		0		0		0	
	その他特定財源	0		200		0		0		0%	
	一般財源	54,348		62,790		116%		70,481		112%	
職員数(人)		0.75		0.67		89%		0.67		100%	
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)			2021(R3)			2022(R4)			単位
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	
指標①		管理する保育園の数									園
		8	-	-	8	-	-	8	-	-	
指標②											
主な事業内容		施設整備及び備品等の保安全管理									
成果		デジタル化の推進により、従来の紙媒体でのおたより配布や欠席等の電話連絡を電子的に行うため、2022(R4)年度に子育て支援システムを導入し、保護者及び保育士の負担を軽減しました。 下記の事業を適切に実施することによって、事故や児童のけがなどを未然に防ぐことができました。 ・備品購入 ・床ガラス清掃 ・防犯警備 ・空調設備保守点検									
課題		建築後50年近く経過している施設が存在し、建築当時の備品及び設備が老朽化しているため計画的に修繕及び交換をする必要があります。 原油価格高騰に伴い、電気料金が高騰しています。									
評価視点								総合評価			
必要性				有効性				効率性			
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い
			○				○				○
A											
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等							
成果の方向性	拡充										
	現状維持				○						
	縮小										
	休廃止										
コスト投入の方向性				老朽化した備品、設備の不良具合内容の精査を行います。 また、厨房器具については、設置から10年以上経過したものは、交換部品の製造中止等の理由により修理不可能な物品も多く、修繕対応ではなく機器そのものの交換が必要となるため、現状で不具合がないものであっても劣化防止のため維持管理に努めていきます。 電気料金が高騰していますが、子どもの安心安全な環境を守るため、適正な電力使用に努めます。							
皆減				縮小	現状維持	拡大					

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	1 次世代育成	掲載	50 頁						
	施策	1 子ども支援	取組	3 保育環境の確保								
事業名		保育園施設整備事業		SDGs	4、5、17							
担当課		健康福祉部 児童課 保育係										
目的	誰を・何を(対象)	保育園										
	どのようにしたいか(意図)	<ul style="list-style-type: none"> 園児等の安全を確保するため、老朽箇所を早期に修繕します。 計画的な修繕を実施し、建物を安全・安心な状態に保ちます。 保育施設の充実を図り、保育園を利用しやすい施設にします。 										
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額	2022(R4) 年度決算額	対前年比(%)	2023(R5) 年度予算額	対前年比(%)						
		32,226	43,067	134%	52,161	121%						
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0						
	受益者負担	0	0	0	0	0						
	その他特定財源	5	7	140%	1	14%						
	一般財源	32,221	43,060	134%	52,160	121%						
職員数(人)		0.46	0.46	100%	0.46	100%						
主な事業実績(評価指標)	2020(R2)		2021(R3)			2022(R4)		単位				
	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値		目標値	達成率		
指標①	整備する保育園の数								園			
	8	-	-	8	-	-	8	-		-		
指標②	-											
主な事業内容		【町立8保育園に係る計画修繕、緊急修繕及び改修工事】 <ul style="list-style-type: none"> 施設工事 施設修繕 改修設計委託・工事監理委託 										
成果		<p>下記の事業を適切に実施することによって、事故等の未然防止及び利用者の利便性向上につなげることができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設工事 25,630千円:外壁改修工事(石浜) 施設修繕 13,730千円:遊具修繕(各園)、高圧受電設備修繕(生路)、保育室クロス張替え(藤江)等 改修設計委託・工事監理委託 3,707千円:トイレ改修工事設計業務(緒川)、外壁改修工事監理業務(石浜)、調理室空調機設置工事設計業務(藤江) 										
課題		<p>施設の老朽化に伴い、修繕箇所等が増加傾向にあります。</p> <p>また、園児や来園者が快適に施設を利用できることを目的とした改修についても計画的に行う必要があります。</p>										
評価視点						総合評価						
必要性			有効性			効率性			A			
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い		やや低い	やや高い	高い
			○				○					○
今後の方向性						事業の改善点・今後の具体的な取組等						
成果の方向性	拡充					<p>老朽箇所を早期修繕し、園児等の安全を確保するとともに、建物を安全・安心な状態に保ちます。</p> <p>空調設備については、児童課で作成した空調機更新計画に基づき計画的に更新し、子どもの保育環境の整備に努めます。</p> <p>また、保育園の照明については、LED化を検討し、計画的に更新を行います。</p>						
	現状維持				○							
	縮小											
	休廃止											
		皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性						

1 施策の位置づけ

施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	1 次世代育成	掲載	54	頁
施策	2 学校教育					
施策の目標	生きる力を育む、特色ある学校づくりを目指します	SDGs	2、4、5、10、11、16、17			
施策の概要	家庭、地域、学校が連携し、豊かな未来をひらく子どもが育つ、特色ある学校づくりを進めます。					

2 取組の成果指標

指標名	単位	基準値	実績値					目標値
		2017(H29)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2023(R5)
不登校児童生徒の割合	%	1.36	2.46	2.38	3.15	4.02		1.90
支援を必要とする児童生徒に対する支援員の配置率	%	42.2	50.0	42.9	40.4	41.2		50.0
学校給食の地産地消率	%	43.0	47.0	52.0	46.0	46.0		50.0

3 施策を構成する事業の評価(取組別)

取組①		学校教育の充実						
取組の概要		確かな学力や健やかな心と体を育み、豊かな未来をひらく人材を育成します。						
番号	施策を構成する事業名	担当課	事業費(千円)			方向性		重点化
			2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	成果	コスト	
1	教育委員会一般管理事業	学校教育課	1,356	1,346	1,642	現状維持	現状維持	
2	教育委員会事務局事業	学校教育課	10,292	7,747	8,613	現状維持	現状維持	
3	義務教育振興一般管理事業	学校教育課	86,755	91,816	99,465	拡充	現状維持	○
4	小学校一般管理事業	学校教育課	178,872	162,760	207,805	現状維持	現状維持	
5	小学校教育振興事業	学校教育課	84,450	90,300	125,694	現状維持	現状維持	
6	中学校一般管理事業	学校教育課	71,508	63,673	90,172	現状維持	現状維持	
7	中学校教育振興事業	学校教育課	62,391	56,291	77,124	現状維持	現状維持	
取組②		いじめ・不登校対策の実施						
取組の概要		いじめ・不登校の早期発見・早期解決により、児童生徒が、充実した学校生活を送れるようにします。						
番号	施策を構成する事業名	担当課	事業費(千円)			方向性		重点化
			2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	成果	コスト	
1	学校生活支援事業	学校教育課	66,445	68,855	78,792	拡充	拡大	◎
取組③		学校生活の支援						
取組の概要		特別な支援を必要とする児童生徒が、充実した学校生活を送れるようにします。						
番号	施策を構成する事業名	担当課	事業費(千円)			方向性		重点化
			2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	成果	コスト	
1	学校生活支援事業(再掲)	学校教育課	66,445	68,855	78,792	拡充	拡大	◎
取組④		特色のある学校づくり						
取組の概要		地域の実情を踏まえ、家庭、地域、学校が連携し、各校の地域性を活かしながら、まちの未来づくりにつながる特色ある学校づくりを進めます。						
番号	施策を構成する事業名	担当課	事業費(千円)			方向性		重点化
			2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	成果	コスト	
1	義務教育振興一般管理事業(再掲)	学校教育課	86,755	91,816	99,465	拡充	現状維持	○
2	小学校一般管理事業(再掲)	学校教育課	178,872	162,760	207,805	現状維持	現状維持	
3	中学校一般管理事業(再掲)	学校教育課	71,508	63,673	90,172	現状維持	現状維持	

取組⑤		学校給食の充実						
取組の概要		児童生徒にきめ細かく対応できる安全な学校給食を提供します。						
番号	施策を構成する事業名	担当課	事業費(千円)			方向性		重点化
			2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	成果	コスト	
1	給食センター運営事業	学校教育課	322,440	393,077	435,713	現状維持	現状維持	
2	給食センター維持管理事業	学校教育課	16,657	14,511	16,687	現状維持	現状維持	

取組⑥		教育施設の整備						
取組の概要		子どもたちが安全な場所と感じることができる教育環境の確保に向けた計画的な改修、更新を推進します。						
番号	施策を構成する事業名	担当課	事業費(千円)			方向性		重点化
			2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	成果	コスト	
1	小学校施設整備事業	学校教育課	127,294	112,543	114,880	現状維持	現状維持	
2	小学校維持点検事業	学校教育課	6,133	12,572	13,698	現状維持	現状維持	
3	中学校施設整備事業	学校教育課	22,491	125,731	84,845	現状維持	現状維持	
4	中学校維持点検事業	学校教育課	3,290	5,696	6,134	現状維持	現状維持	

4 施策の評価

評価視点	評価内容
成果指標の分析	<ul style="list-style-type: none"> ・「不登校児童生徒の割合」は増加傾向にあり、社会情勢等により更なる増加も考えられます。今後も一人一人に寄り添った支援ができるよう現状の体制を維持しつつ、一人でも多くの児童生徒が学校に通えるよう支援を継続していくことが必要と考えます。 ・「支援を必要とする児童生徒に対する支援員の配置率」について、支援員の数を増員してはいますが、年度により対象となる児童生徒数も増加傾向にあるため、配置率が変動しています。支援を必要とする児童生徒の多様化への対応や教職員の多忙化解消に寄与できるような人的支援の拡充は今後も必要と考えます。 ・地産地消率の下降は、食材価格の高騰が要因と考えます。
事業構成の適正化	<p>取組④の「特色のある学校づくり」について、施策を構成する事業が複数あり、該当する事業の編成が必要との考えもありましたが、事業の中身としては、学校教育課が主体となって実施するソフト面での取組、学校の特色やそれぞれの地域性を踏まえ、学校が独自に実施する取組、子供たちの主体的・対話的で深い学びを充実させるような学校への支援、ハード面の充実など、さまざまな取組が連携して成果をあげていくものであるため、事業構成は適正であると判断しました。</p>
事業の重点化	<p>本町の教育大綱において、特別支援教育の推進や生徒指導の充実を重点施策としていることから、学校生活支援事業と義務教育振興一般管理事業を重点事業とします。特に、支援を必要とする児童生徒に対する支援やいじめや不登校を始めとした学校生活及び家庭生活での悩みを抱える児童・生徒・保護者等への支援を充実し、児童・生徒一人ひとりが安心して通うことができる学校環境の確保に努めます。</p>
協働の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・地域とともにある学校づくりを目指し、コミュニティ・スクールの仕組みを生かして学校と地域の効果的な連携を推進します。 ・本町で生産される食材を児童・生徒が身近に感じられるよう、食の体験を通じて食育の推進を図ります。

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	1 次世代育成	掲載	54	頁					
	施策	2 学校教育	取組	1 学校教育の充実								
事業名		教育委員会一般管理事業		SDGs	4、5、17							
担当課		教育部 学校教育課 庶務係										
目的	誰を・何を(対象)	教育委員会										
	どのようにしたいか(意図)	教育委員会の会議を円滑に運営することで、教育委員会が適正に機能するようにします。										
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額	2022(R4) 年度決算額	対前年比(%)	2023(R5) 年度予算額	対前年比(%)						
		1,356	1,346	99%	1,642	122%						
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0						
	受益者負担	0	0	0	0	0						
	その他特定財源	0	0	0	0	0						
	一般財源	1,356	1,346	99%	1,642	122%						
職員数(人)		0.33	0.33	100%	0.33	100%						
主な事業実績(評価指標)	2020(R2)		2021(R3)			2022(R4)			単位			
	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値		達成率		
指標①	教育委員会(定例会、臨時会)開催数								回			
	13	-	-	13	-	-	13	-		-		
指標②	教育総合会議開催数								回			
	1	-	-	1	-	-	1	-		-		
主な事業内容		教育委員会の会議、総合教育会議の開催										
成果		法令に基づき、教育委員会定例会を月1回、臨時会を1回、総合教育会議を1回開催することで、教育委員会が適正に機能しています。 教育委員会 2020(R2) 議案32件、承認30件、不承認2件 2021(R3) 議案39件、承認38件、不承認1件 2022(R4) 議案39件、承認38件、不承認1件										
課題		特になし										
評価視点					総合評価							
必要性			有効性			効率性			A			
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い		やや低い	やや高い	高い
			○				○					○
今後の方向性					事業の改善点・今後の具体的な取組等							
成果の方向性	拡充				今後も教育委員会の適切な運営に努めます。							
	現状維持			○								
	縮小											
	休廃止											
		皆減	縮小	現状維持	拡大							
		コスト投入の方向性										

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり			項	1 次世代育成			掲載	54 頁		
	施策	2 学校教育			取組	1 学校教育の充実						
事業名		教育委員会事務局事業				SDGs	4、5、17					
担当課		教育部 学校教育課 庶務係										
目的	誰を・何を(対象)	教育委員会										
	どのようにしたいか(意図)	教育委員会事務局を円滑に運営することで、教育委員会が適正に機能するようにします。										
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額			2022(R4) 年度決算額 対前年比(%)			2023(R5) 年度予算額 対前年比(%)				
		10,292			7,747 75%			8,613 111%				
財源内訳	国・県支出金	8			8 100%			8 100%				
	受益者負担	0			0 0%			0 0%				
	その他特定財源	1,790			1 0%			1 100%				
	一般財源	8,494			7,738 91%			8,604 111%				
職員数(人)		0.52			0.52 100%			0.52 100%				
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)			2021(R3)			2022(R4)			単位	
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率		
指標①		-			-			-				
指標②		-			-			-				
主な事業内容		教育委員会の運営に係る会計年度任用職員報酬、各種協議会等負担金などの支払い										
成果		教育委員会事務局の庶務的業務を円滑に行うことにより、教育委員会が適正に機能しています。										
課題		特になし										
評価視点								総合評価				
必要性				有効性				効率性				
			○				○				○	A
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	
今後の方向性						事業の改善点・今後の具体的な取組等						
成果の方向性	拡充					今後も必要に応じて事務を確認、整理し、適切な処理を行いながら、引き続き教育委員会事務局の円滑な運営に努めます。						
	現状維持			○								
	縮小											
	休廃止											
		皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性						

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	1 次世代育成	掲載	54	頁	
	施策	2 学校教育	取組	1 学校教育の充実				
事業名		義務教育振興一般管理事業		SDGs	4、5、17			
担当課		教育部 学校教育課 学校教育係						
目的	誰を・何を(対象)	小中学校児童生徒						
	どのようにしたいか(意図)	児童生徒を楽しく学校に通わせ、健やかな心と体を育み、学力の向上を図ります。						
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額	2022(R4) 年度決算額	対前年比(%)	2023(R5) 年度予算額	対前年比(%)		
		86,755	91,816	106%	99,465	108%		
財源内訳	国・県支出金	6,984	7,541	108%	6,639	88%		
	受益者負担	132	1,863	1411%	1,854	100%		
	その他特定財源	0	0	0	0	0		
	一般財源	79,639	82,412	103%	90,972	110%		
職員数(人)		1.90	1.37	72%	1.78	130%		
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)		2021(R3)		2022(R4)		単位
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	
指標①		教科等特別指導員の配置人数(各小学校1人)						人
		7	7	100%	7	7	100%	
指標②		アフタースクール指導員等の配置人数(コーディネーター2人、指導員8人、補助員2人)						人
		11	11	100%	12	12	100%	
主な事業内容		<ul style="list-style-type: none"> ・外国語指導助手(ALT)の配置事業 ・アフタースクール事業 ・学生ボランティア事業 ・教科等特別指導員の配置事業 ・学校経営活性化事業 ・小中学校運営事業 						
成果		<p>・外国語指導助手(ALT)の配置事業においては、英語を母国語とする指導助手(ALT)を学校に派遣し、児童生徒が生きた外国語を学ぶとともに、国際理解を図りました。小学校については、7校で年320日間、中学校については、3校で年168日間、ALTを派遣しました。</p> <p>・教科等特別指導員の配置事業においては、予定していた配置人数を達成でき、主に算数の授業でチーム・ティーチングを行うことで、よりきめ細やかな指導、支援を実施しました。</p> <p>・アフタースクール事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止していた地域住民との交流活動を徐々に実施しながら、子どもの安全な居場所づくり、勉強やスポーツ・文化活動等を実践しました。</p> <p>登録人数: 2020年度 356人、2021年度 329人、2022年度 269人 参加延べ人数: 2020年度 9,502人、2021年度 8,419人、2022年度 9,079人</p>						
課題		<p>・本町では、アフタースクール指導員の資格要件として、教員免許を保有することとしているため、指導員に欠員が発生した場合、迅速に欠員補充することが難しいです。</p> <p>・児童生徒への学習支援に対し意欲の高い学生ボランティアを確保するためには、大学訪問や案内通知の送付、学生ボランティアの相談等に多くの時間を割く必要があり、人件費の増加につながります。</p>						
評価視点					総合評価			
必要性		有効性		効率性		A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しを検討 D: 事業の統合・休廃止を検討		
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	
			○				○	
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等				
成果の方向性	拡充			○	・アフタースクール指導員に欠員が発生した場合には、迅速な欠員補充のため、ホームページ、広報紙、ハローワーク等を活用します。			
	現状維持				・児童生徒への学習支援に対し意欲の高い学生ボランティアの確保のため、ホームページ、広報紙、SNS、大学訪問等を活用し、周知します。			
	縮小							
	休廃止							
		皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性		

事業名		義務教育振興一般管理事業		担当課	学校教育課 学校教育係			
No.	細事業名	概要			2022(R4) 年度 決算額 (千円)	2023(R5) 年度 予算額 (千円)	今後の方向性	
		対象	手段	意図			成果	コスト
1	外国語指導助手 (ALT)の配置事業	児童生徒	外国語指導助手(ALT)を各小 中学校に派遣して	ネイティブ英語に接する機会を 与えます。	10,560	10,560	現状維持	現状維持
2	アフタースクール事業	小学4年生から6年生までの 児童	放課後に小学校の余剰教室 を活用し地域住民の参画を得 ることで	安全・安心な子どもの活動拠点 (居場所)を設け、地域の方々の 参画を得て、子どもたちに勉 強やスポーツ・文化芸術活動、 地域住民との交流ができるよう にします。	15,050	17,356	現状維持	現状維持
3	学生ボランティア事業	教員志望の大学生及び児童 生徒	学生ボランティアを通常授業 や夏休みの補習授業に派遣し て	・教員志望の大学生の意欲、経 験値を向上させます。 ・授業内容が分からない児童生 徒に個別の学習支援をします。	7,707	7,122	拡充	現状維持
4	教科等特別指導員の 配置事業	児童	教科等特別指導員を小学校 に1名ずつ配置して	算数の授業を始め、一人ひとり の個性を大切に、個に応じた 教育を受けられるようにします。	8,141	8,789	現状維持	現状維持
5	学校経営活性化事業	教職員及び児童生徒	学校経営上必要な事業(必須 事業)及び各学校が企画する 事業(選択事業)に対し事業を 委託して	教育活動及び児童生徒の学校 生活を充実させるとともに、特 色ある学校をつくります。	20,788	23,580	現状維持	現状維持
6	小中学校運営事業	教職員	報酬・報償支払、消耗品購 入、委託、備品購入、負担金 納入等について、遅滞なく執 行して	教育活動を充実させるサポート をするとともに、学校運営をサ ポートします。	29,570	32,058	現状維持	現状維持
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
事務事業合計					91,816	99,465	拡充	現状維持

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	1 次世代育成	掲載	54	頁	
	施策	2 学校教育	取組	1 学校教育の充実				
事業名		小学校一般管理事業		SDGs	4、5、17			
担当課		教育部 学校教育課 庶務係						
目的	誰を・何を(対象)	小学校						
	どのようにしたいか(意図)	安全で快適な教育環境を確保することで、児童の確かな学力や健やかな心と体を育みます。						
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額	2022(R4) 年度決算額	対前年比(%)	2023(R5) 年度予算額	対前年比(%)		
		178,872	162,760	91%	207,805	128%		
財源内訳	国・県支出金	7,535	4,732	63%	2,571	54%		
	受益者負担	0	0	0	0	0		
	その他特定財源	16	13	81%	1,256	9662%		
	一般財源	171,321	158,015	92%	203,978	129%		
職員数(人)		0.58	0.58	100%	0.58	100%		
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)		2021(R3)		2022(R4)		単位
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	
指標①		児童へのタブレット端末配付率						%
		100	100	100%	100	100	100%	
指標②		-						
主な事業内容		タブレット端末の借上げ 庁用器具備品等の購入 水泳指導の民間委託						
成果		タブレット端末を借り上げるにより、国が進めているGIGAスクール構想の推進及び学校の情報化の推進に寄与しました。 庁用器具備品等を購入することにより、備品の拡充、更新が行われ、快適な教育環境を確保することに寄与しました。 藤江小、生路小、片葩小、石浜西小、卯ノ里小にて水泳指導の民間委託を実施しました。						
課題		タブレット端末を活用した学習指導の充実を図るために、教職員の知識や能力の向上が必要です。						
評価視点						総合評価		
必要性		有効性		効率性		A		
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	
			○				○	
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等				
成果の方向性	拡充				タブレット端末などのICT機器全般の有効な利用を促進するため、2023年度からICT支援員を導入します。			
	現状維持			○				
	縮小							
	休廃止							
		皆減	縮小	現状維持	拡大			
		コスト投入の方向性						

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	1 次世代育成	掲載	54	頁
	施策	2 学校教育	取組	1 学校教育の充実			

事業名	小学校教育振興事業	SDGs	4、5、17
-----	-----------	------	--------

担当課	教育部 学校教育課 学校教育係
-----	-----------------

目的	誰を・何を(対象)	児童
	どのようにしたいか(意図)	児童が、学習指導要領に応じた教育を受けることができ、確かな学力や健やかな心と体を育んでいけるようにします。

事業費(千円)	2021(R3) 年度決算額	2022(R4) 年度決算額 対前年比(%)	2023(R5) 年度予算額 対前年比(%)
	84,450	90,300 107%	125,694 139%

財源内訳	国・県支出金	9,964	16,921	170%	1,087	6%
	受益者負担	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	74,486	73,379	99%	124,607	170%

職員数(人)	1.00	0.71	71%	0.97	137%
--------	------	------	-----	------	------

主な事業実績(評価指標)	2020(R2)			2021(R3)			2022(R4)			単位
	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	

指標①	就学援助事業対象児童数(新入学学用品費を入学前に支給した新小学1年生を含む)									人
	280	-	-	313	-	-	326	-	-	

指標②	特別支援教育就学奨励事業対象児童数									人
	62	-	-	67	-	-	81	-	-	

主な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校運営(消耗品購入、修繕、バス借上、各種教材・図書の購入等)事業 ・小学校就学援助(学用品費、学校給食費、修学旅行費等の援助)事業 ・小学校特別支援教育就学奨励(学用品費、学校給食費、修学旅行費等の援助)事業
--------	---

成果	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校就学援助事業においては、経済的な支援を必要とする児童の保護者に対し、学用品費、学校給食費、修学旅行費等の援助を実施し、経済的理由により就学困難な児童への教育の機会均等を図りました。 ・小学校特別支援教育就学奨励事業においては、特別支援学級への就学の事情を考慮し、その児童の保護者の経済的負担を軽減するため、学用品費、学校給食費、修学旅行費等の援助を実施し、特別支援教育の普及奨励を図りました。
----	---

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・各種教材、図書等の購入は、経常的にコストがかかります。各種教材、図書等を充実させるためには、コストが増加します。 ・小学校就学援助事業の判定要件(所得)、認定基準、援助費目について、社会経済情勢の変動が著しい今般、より実情に即した援助となっていることを常に確認しなければなりません。
----	---

評価視点										総合評価	
必要性			有効性			効率性				A	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い		

今後の方向性					事業の改善点・今後の具体的な取組等				
成果の方向性	拡充				・小学校就学援助事業について、他市町村の動向を参考にしながら、必要に応じて判定要件(所得)、認定基準、援助費目等の見直しを行います。				
	現状維持			○					
	縮小								
	休廃止								
コスト投入の方向性									
					皆減 縮小 現状維持 拡大				

事業名		小学校教育振興事業			担当課	学校教育課 学校教育係		
No.	細事業名	概要			2022(R4) 年度 決算額 (千円)	2023(R5) 年度 予算額 (千円)	今後の方向性	
		対象	手段	意図			成果	コスト
1	小学校運営事業	教職員及び児童	報酬支払、消耗品購入、修繕、バス借上、各種教材・図書の購入等について、遅滞なく執行して	教育活動及び児童の学校生活を充実させます。	68,573	102,722	現状維持	現状維持
2	小学校就学援助事業	経済的な支援を必要とする児童の保護者	学用品費、学校給食費、修学旅行費等の援助を実施して	経済的理由により就学困難な児童への教育の機会均等を図ります。	18,981	19,751	現状維持	現状維持
3	小学校特別支援教育就学奨励事業	特別支援学級に在籍する児童の保護者	学用品費、学校給食費、修学旅行費等の援助を実施して	特別支援教育の普及奨励を図ります。	2,746	3,221	現状維持	現状維持
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
事務事業合計					90,300	125,694	現状維持	現状維持

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	1 次世代育成	掲載	54	頁	
	施策	2 学校教育	取組	1 学校教育の充実				
事業名		中学校一般管理事業		SDGs	4、5、17			
担当課		教育部 学校教育課 庶務係						
目的	誰を・何を(対象)	中学校						
	どのようにしたいか(意図)	安全で快適な教育環境を確保することで、生徒の確かな学力や健やかな心と体を育みます。						
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額	2022(R4) 年度決算額	対前年比(%)	2023(R5) 年度予算額	対前年比(%)		
		71,508	63,673	89%	90,172	142%		
財源内訳	国・県支出金	3,272	746	23%	1,907	256%		
	受益者負担	0	0	0	0	0		
	その他特定財源	1	18	1800%	3,501	19450%		
	一般財源	68,235	62,909	92%	84,764	135%		
職員数(人)		0.58	0.58	100%	0.58	100%		
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)		2021(R3)		2022(R4)		単位
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	
指標①		生徒へのタブレット端末配付率						%
		100	100	100%	100	100	100%	
指標②		-						
主な事業内容		タブレット端末の借上げ 庁用器具備品等の購入						
成果		タブレット端末を借り上げるにより、国が進めているGIGAスクール構想の推進及び学校の情報化の推進に寄与しました。 庁用器具備品等を購入することにより、備品の拡充、更新が行われ、快適な教育環境を確保することに寄与しました。						
課題		タブレット端末を活用した学習指導の充実を図るために、教職員の知識や能力の向上が必要です。						
評価視点						総合評価		
必要性		有効性		効率性		A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しを検討 D: 事業の統合・休廃止を検討		
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	
			○				○	
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等				
成果の方向性	拡充				タブレット端末などのICT機器全般の有効な利用を促進するため、2023年度からICT支援員を導入します。			
	現状維持			○				
	縮小							
	休廃止							
		皆減	縮小	現状維持	拡大			
		コスト投入の方向性						

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	1 次世代育成	掲載	54 頁					
	施策	2 学校教育	取組	1 学校教育の充実							
事業名		中学校教育振興事業		SDGs	4、5、17						
担当課		教育部 学校教育課 学校教育係									
目的	誰を・何を(対象)	生徒									
	どのようにしたいか(意図)	生徒が、学習指導要領に応じた教育を受けることができ、確かな学力や健やかな心と体を育んでいけるようにします。									
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額	2022(R4) 年度決算額	対前年比(%)	2023(R5) 年度予算額	対前年比(%)					
		62,391	56,291	90%	77,124	137%					
財源内訳	国・県支出金	4,955	6,294	127%	503	8%					
	受益者負担	5	5	100%	7	140%					
	その他特定財源	0	0	0	0	0					
	一般財源	57,431	49,992	87%	76,614	153%					
職員数(人)		0.94	0.69	73%	0.93	135%					
主な事業実績(評価指標)	2020(R2)		2021(R3)			2022(R4)			単位		
	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値		達成率	
指標①	就学援助事業対象生徒数									人	
	169	-	-	163	-	-	174	-	-		
指標②	特別支援教育就学奨励事業対象生徒数									人	
	25	-	-	24	-	-	20	-	-		
主な事業内容		<ul style="list-style-type: none"> ・中学校運営(消耗品購入、修繕、バス借上、各種教材・図書等の購入等)事業 ・中学校就学援助(学用品費、学校給食費、修学旅行費等の援助)事業 ・中学校特別支援教育就学奨励(学用品費、学校給食費、修学旅行費等の援助)事業 									
成果		<ul style="list-style-type: none"> ・中学校就学援助事業においては、経済的な支援を必要とする生徒の保護者に対し、学用品費、学校給食費、修学旅行費等の援助を実施し、経済的理由により就学困難な児童への教育の機会均等を図りました。 ・中学校特別支援教育就学奨励事業においては、特別支援学級への就学の事情を考慮し、その生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、学用品費、学校給食費、修学旅行費等の援助を実施し、特別支援教育の普及奨励を図りました。 									
課題		<ul style="list-style-type: none"> ・各種教材、図書等の購入は、経常的にコストがかかります。各種教材、図書等を充実させるには、コストが増加します。 ・中学校就学援助事業の判定要件(所得)、認定基準、援助費目について、社会経済情勢の変動が著しい今般、より実情に即した援助となっていることを常に確認しなければなりません。 									
評価視点							総合評価				
必要性			有効性			効率性			A		
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い
今後の方向性							事業の改善点・今後の具体的な取組等				
成果の方向性	拡充										<ul style="list-style-type: none"> ・中学校就学援助事業について、他市町村の動向を参考にしながら、必要に応じて判定要件(所得)、認定基準、援助費目等の見直しを行います。
	現状維持			○							
	縮小										
	休廃止										
		皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性					

事業名		中学校教育振興事業			担当課		学校教育課 学校教育係	
No.	細事業名	概要			2022(R4) 年度 決算額 (千円)	2023(R5) 年度 予算額 (千円)	今後の方向性	
		対象	手段	意図			成果	コスト
1	中学校運営事業	教職員及び生徒	報酬支払、消耗品購入、修繕、バス借上、各種教材・図書の購入等について、遅滞なく執行して	教育活動及び生徒の学校生活を充実させます。	36,036	57,687	現状維持	現状維持
2	中学校就学援助事業	経済的な支援を必要とする生徒の保護者	学用品費、学校給食費、修学旅行費等の援助を実施して	経済的理由により就学困難な生徒への教育の機会均等を図ります。	19,244	18,243	現状維持	現状維持
3	中学校特別支援教育就学奨励事業	特別支援学級に在籍する生徒の保護者	学用品費、学校給食費、修学旅行費等の援助を実施して	特別支援教育の普及奨励を図ります。	1,011	1,194	現状維持	現状維持
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
事務事業合計					56,291	77,124	現状維持	現状維持

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	1 次世代育成	掲載	54	頁					
	施策	2 学校教育	取組	2 いじめ・不登校対策の実施								
事業名		学校生活支援事業		SDGs	4、10、16、17							
担当課		教育部 学校教育課 学校教育係										
目的	誰を・何を(対象)	不登校児童生徒及び支援を必要とする児童生徒										
	どのようにしたいか(意図)	きめ細やかな指導支援により、不登校の児童生徒を早期に学校に復帰できるようにします。特別な支援を必要とする児童生徒に、きめ細かな個別対応を行うことで、生活の自立や社会参加を促すようにします。										
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額	2022(R4) 年度決算額	対前年比(%)	2023(R5) 年度予算額	対前年比(%)						
		66,445	68,855	104%	78,792	114%						
財源内訳	国・県支出金	1,998	2,267	113%	800	35%						
	受益者負担	0	0	0	0	0						
	その他特定財源	0	0	0	0	0						
	一般財源	64,447	66,588	103%	77,992	117%						
職員数(人)		0.68	0.61	90%	0.65	107%						
主な事業実績(評価指標)	2020(R2)		2021(R3)			2022(R4)			単位			
	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値		達成率		
指標①	適応指導教室(不登校児童生徒が在籍)の指導員の配置人数											
	4	4	100%	4	4	100%	4	4	100%	人		
指標②	支援を必要とする児童生徒に対する支援員の配置人数											
	36	48	75%	38	48	79%	39.5	48	82%	人		
主な事業内容		<ul style="list-style-type: none"> ・適応指導教室(不登校児童生徒が在籍、本町ではふれあい教室と呼ぶ)運営事業 ・子どもと親の相談事業 ・特別支援教育事業 ・小中学校生活支援運営事業 										
成果		<ul style="list-style-type: none"> ・適応指導教室(ふれあい教室)には、月平均3.58人が在籍し、学習支援及び生活指導を実施しました。 ・子どもと親の相談窓口は、2016年度から相談受付時間を1時間延長し、現在は、平日午前9時から午後5時まで相談を受け付けています。毎年度実施するチラシ配布、ホームページや広報紙への掲載などの結果、相談件数及び訪問件数は次のとおりでした。 相談件数: 2020年度 160件、2021年度 139件、2022年度 205件 訪問件数: 2020年度 16件、2021年度 4件、2022年度 4件 										
課題		<ul style="list-style-type: none"> ・通常学級においても個別の支援を必要とする児童生徒数が増加傾向にあります。特別な支援を必要とする児童生徒に対する支援員の配置人数が減少すると、きめ細かな個別対応が難しくなります。 ・特別な支援を必要とする児童生徒に対応するため、支援員の人数を増員すると、コストが増加します。 										
評価視点							総合評価					
必要性			有効性			効率性			A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しを検討 D: 事業の統合・休廃止を検討			
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	B
			○									
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等								
成果の方向性	拡充											<ul style="list-style-type: none"> ・指導員、支援員の確保のため、ホームページ、広報紙、SNS、ハローワーク等を活用し、募集します。 ・子どもと親の相談事業の周知機会が広がるよう、学校行事やSNS等を利用したPRも進めていきます。 ・特別支援学級又は通級指導教室の増級、1学級に在籍する人数の増加など、児童生徒の実態や学級の在籍者数を考慮し、必要に応じて支援員を増員します。 ・支援員の増員には、コストの増加が避けられないため、他事業費の見直しを検討します。
	現状維持											
	縮小											
	休廃止											
		皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性						

事業名		学校生活支援事業		担当課	学校教育課 学校教育係			
No.	細事業名	概要			2022(R4) 年度 決算額 (千円)	2023(R5) 年度 予算額 (千円)	今後の方向性	
		対象	手段	意図			成果	コスト
1	適応指導教室(ふれあい教室)運営事業	不登校児童生徒	適応指導教室(ふれあい教室)に通わせ、個別や小集団での相談・指導を行うことで	自立を促しながら、集団生活に適応する力を育み、学校への早期復帰を支援します。	10,299	10,726	現状維持	現状維持
2	こどもと親の相談事業	学校生活や家庭生活に問題を抱える子どもまたは親	こどもと親の相談窓口やホットライン電話を活用して	いじめの防止や不登校児童生徒の早期発見・早期解決を図るための学校生活や家庭生活に関する様々な相談を受け、助言をします。	6,104	6,594	現状維持	現状維持
3	特別支援教育事業	特別支援学級に在籍する障がいのある児童生徒及び通常学級に在籍する支援を必要とする児童生徒	学校生活支援員を配置し、きめ細かな個別対応を行うことで	充実した学校生活を送れるよう支援を行うとともに、生活の自立や社会参加を促すようにします。	43,999	52,431	拡充	拡大
4	小中学校生活支援運営事業	・学校生活に悩みを抱える児童生徒 ・教職員	・心の健康相談員を配置し、相談に応じることで ・報酬支払、消耗品購入等について、遅滞なく執行して	・いじめの防止や不登校児童生徒の早期発見・早期解決を図るための学校生活に関する様々な相談を受け、助言をします。 ・事業の円滑な運営をサポートします。	8,453	9,041	現状維持	現状維持
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
事務事業合計					68,855	78,792	拡充	拡大

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	1 次世代育成	掲載	54	頁				
	施策	2 学校教育	取組	5 学校給食の充実							
事業名		給食センター運営事業		SDGs	2, 17						
担当課		教育部 学校教育課 学校給食係									
目的	誰を・何を(対象)	児童、生徒及び保護者									
	どのようにしたいか(意図)	<ul style="list-style-type: none"> ・安全安心でおいしい給食の提供 ・食に関する正しい理解 ・食育の推進 									
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額	2022(R4) 年度決算額	対前年比(%)	2023(R5) 年度予算額	対前年比(%)					
		322,440	393,077	122%	435,713	111%					
財源内訳	国・県支出金	0	11,710	0	0	0%					
	受益者負担	222,552	218,147	98%	239,370	110%					
	その他特定財源	749	769	103%	3,458	450%					
	一般財源	99,139	162,451	164%	192,885	119%					
職員数(人)		7.36	1.02	14%	1.02	100%					
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)		2021(R3)			2022(R4)			単位	
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値		達成率
指標①		食に関する巡回指導									回
		78	-	-	100	-	-	112	-	-	
指標②		-									
主な事業内容		<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の心身の発達のため、栄養バランスの取れた給食を提供します。 ・食に関して特別の配慮(アレルギー)を必要とする児童生徒の保護者に対して、除去食の対応について個別面談を実施します。 ・児童生徒に対し、食に関する巡回指導を実施します。 									
成果		<p>以下のとおり、児童生徒にきめ細かく対応し、安全に給食を提供することができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食提供回数(小学校 191回、中学校 191回) ・給食提供人数(小学校 3,054名、中学校 1,556名、合計 4,610名) ・食に関する巡回指導 112回 ・アレルギー面談 120回 ・ブレ骨折予防プロジェクト 3回(おからメニューの提供) ・2022年度から、調理業務等(調理・配送)について業務委託をしたことにより、調理員等の人材管理や研修などにかかる事務が軽減されました。 									
課題		<ul style="list-style-type: none"> ・2023年度より、東浦高校敷地内に併設される千種聾学校ひがしうら校舎への給食の提供が開始されるため、委託内容の精査や配送方法の検討が必要です。 ・2014年に新設され、施設設備がまもなく10年を迎えることから故障箇所が多くなってきているため、計画的に修繕を進めていく必要があります。 ・食料価格の高騰により、賄材料費が足りていないことから給食単価の見直しが必要です。 									
評価視点						総合評価					
必要性			有効性			効率性			A		
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い
今後の方向性						事業の改善点・今後の具体的な取組等					
成果の方向性	拡充					<ul style="list-style-type: none"> ・2014年に給食センターが新設されてからまもなく10年を迎えるにあたり、施設設備に故障や不具合が生じており、安心して安全な学校給食の提供のため計画的な修繕を検討します。 ・2023年度から骨折予防プロジェクトのため、商工振興課・健康課とタイアップして、毎月11日を「リボーンの日」とし、給食実施日は「おから」を取り入れた献立の提供をしていきます。 ・「給食費無償化」の国の動向を踏まえ、給食単価の見直しに向けた準備を進めていきます。 					
	現状維持			○							
	縮小										
	休廃止										
コスト投入の方向性		皆減	縮小	現状維持	拡大						

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	1 次世代育成	掲載	54	頁	
	施策	2 学校教育	取組	5 学校給食の充実				
事業名		給食センター維持管理事業		SDGs	2, 17			
担当課		教育部 学校教育課 学校給食係						
目的	誰を・何を(対象)	学校給食センター						
	どのようにしたいか(意図)	学校給食の衛生面、安全性を確保するため、施設の維持管理を行います。						
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額	2022(R4) 年度決算額	対前年比(%)	2023(R5) 年度予算額	対前年比(%)		
		16,657	14,511	87%	16,687	115%		
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0		
	受益者負担	0	0	0	0	0		
	その他特定財源	0	0	0	0	0		
	一般財源	16,657	14,511	87%	16,687	115%		
職員数(人)		1.28	1.03	80%	1.03	100%		
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)		2021(R3)		2022(R4)		単位
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	
指標①		-						
指標②		-						
主な事業内容		<p>【手数料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一種圧力容器検査 ・上水道(受水槽)水質検査 <p>【委託業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厨房機器等各種設備の保守点検等管理業務 						
成果		衛生管理及び施設設備の保守点検を図り、安全安心な給食を提供できました。						
課題		検査及び点検をより徹底するため、実施回数を増やすことにより安全性は高まりますが事業費は増大します。						
評価視点					総合評価			
必要性		有効性		効率性		A		
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	
			○				○	
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等				
成果の方向性	拡充				・保守点検において、機器等の長期的な使用が可能になるよう、修繕も含めた点検内容への変更が必要です。			
	現状維持			○				
	縮小							
	休廃止							
		皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性		

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	1 次世代育成	掲載	54	頁	
	施策	2 学校教育	取組	6 教育施設の整備				
事業名		小学校施設整備事業		SDGs	4、11、17			
担当課		教育部 学校教育課 庶務係						
目的	誰を・何を(対象)	小学校						
	どのようにしたいか(意図)	児童が安全な場所と感じることができる教育環境の確保に向け、施設・設備を整備します。						
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額	2022(R4) 年度決算額 対前年比(%)	2023(R5) 年度予算額 対前年比(%)				
		127,294	112,543 88%	114,880 102%				
財源内訳	国・県支出金	9,047	35,530 393%	11,645 33%				
	受益者負担	0	0 0	0 0				
	その他特定財源	61,800	0 0%	11,200 0				
	一般財源	56,447	77,013 136%	92,035 120%				
職員数(人)		0.70	0.70 100%	0.70 100%				
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)		2021(R3)		2022(R4)		単位
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	
指標①		修繕件数						件
		30	-	-	20	-	-	
指標②		工事件数						件
		8	-	-	5	-	-	
主な事業内容		<ul style="list-style-type: none"> ・修繕の実施 ・改修、更新工事の実施 ・業務委託の実施 						
成果		施設・設備の修繕、改修・更新工事及び監理・設計の業務委託を実施したことにより、安全な場所と感じることができる教育環境の確保に寄与しました。						
課題		<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備の老朽化が進んでおり、突発的な破損、故障が増えています。 ・施設・設備の老朽化が進んでおり、計画的な施設の改修、更新が必要です。 						
評価視点				総合評価				
必要性		有効性		効率性		A		
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	
			○				○	
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等				
成果の方向性	拡充						計画的に修繕、改修を実施するため、施設の長寿命化を図りながら、財政負担を平準化させた更新計画に基づいて、5年ごとに見直しをしながら、施設管理を行っていきます。	
	現状維持			○				
	縮小							
	休廃止							
		皆減	縮小	現状維持	拡大			
		コスト投入の方向性						

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	1 次世代育成	掲載	54	頁					
	施策	2 学校教育	取組	6 教育施設の整備								
事業名		小学校維持点検事業		SDGs	4, 11, 17							
担当課		教育部 学校教育課 庶務係										
目的	誰を・何を(対象)	小学校										
	どのようにしたいか(意図)	児童が安全な場所と感じることができる教育環境の確保に向け、施設・設備を維持管理します。										
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額	2022(R4) 年度決算額	対前年比(%)	2023(R5) 年度予算額	対前年比(%)						
		6,133	12,572	205%	13,698	109%						
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0						
	受益者負担	0	0	0	0	0						
	その他特定財源	0	0	0	0	0						
	一般財源	6,133	12,572	205%	13,698	109%						
職員数(人)		0.24	0.24	100%	0.24	100%						
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)			2021(R3)			2022(R4)			単位	
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率		
指標①		委託件数									件	
		10	-	-	10	-	-	10	-	-		
指標②		-										
主な事業内容		業務委託の実施 プール循環ろ過機保守点検業務、浄化槽保守点検業務、電気設備保守点検業務、小中学校放送設備保守点検業務、給排水衛生機器設備保守点検業務、消防用設備等保守点検業務、給食用ダムウエーター保守点検業務、小中学校遊具及び体育用具施設保守点検業務、防犯等警備業務、エレベーター保守点検業務										
成果		保守点検業務委託を実施することにより、施設・設備の老朽化による劣化や損傷等が早期に発見でき、速やかな修繕につなげられ、安全な場所と感じることができる教育環境の確保に寄与しました。										
課題		施設・設備の老朽化が進み、点検による不具合が多くなっており、多くの施設・設備で修繕、更新が必要となっています。										
評価視点						総合評価						
必要性			有効性			効率性			A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しを検討 D: 事業の統合・休廃止を検討			
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	A
			○				○				○	
今後の方向性						事業の改善点・今後の具体的な取組等						
成果の方向性	拡充					施設、設備の適期点検により、不具合を早期に発見し対応することで、円滑な学校運営、児童等の安全確保を行います。						
	現状維持			○								
	縮小											
	休廃止											
		皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性						

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり			項	1 次世代育成			掲載	54 頁	
	施策	2 学校教育			取組	6 教育施設の整備					
事業名		中学校施設整備事業			SDGs	4、11、17					
担当課		教育部 学校教育課 庶務係									
目的	誰を・何を(対象)	中学校									
	どのようにしたいか(意図)	生徒が安全な場所と感じることができる教育環境の確保に向け、施設・設備を整備します。									
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額			2022(R4) 年度決算額 対前年比(%)			2023(R5) 年度予算額 対前年比(%)			
		22,491			125,731 559%			84,845 67%			
財源内訳	国・県支出金	3,859			51,713 1340%			0 0%			
	受益者負担	0			0 0			0 0			
	その他特定財源	0			0 0			0 0			
	一般財源	18,632			74,018 397%			84,845 115%			
職員数(人)		0.66			0.66 100%			0.66 100%			
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)			2021(R3)			2022(R4)			単位
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	
指標①		修繕件数									件
		21	-	-	14	-	-	13	-	-	
指標②		工事件数									件
		10	-	-	2	-	-	4	-	-	
主な事業内容		<ul style="list-style-type: none"> ・修繕の実施 ・改修、更新工事の実施 ・業務委託の実施 									
成果		施設・設備の修繕、改修・更新工事及び監理・設計の業務委託を実施したことにより、安全な場所と感じることができる教育環境の確保に寄与しました。									
課題		<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備の老朽化が進んでおり、突発的な破損、故障が増えています。 ・施設・設備の老朽化が進んでおり、計画的な施設の改修、更新が必要です。 									
評価視点							総合評価				
必要性			有効性			効率性			A		
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い
今後の方向性							事業の改善点・今後の具体的な取組等				
成果の方向性	拡充										
	現状維持				○						
	縮小										
	休廃止										
		皆減	縮小	現状維持	拡大	計画的に修繕、改修を実施するため、施設の長寿命化を図りながら、財政負担を平準化させた更新計画に基づいて、5年ごとに見直しをしながら、施設管理を行っていきます。					
		コスト投入の方向性									

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	1 次世代育成	掲載	54 頁
	施策	2 学校教育	取組	6 教育施設の整備		

事業名	中学校維持点検事業	SDGs	4, 11, 17
-----	-----------	------	-----------

担当課	教育部 学校教育課 庶務係
-----	---------------

目的	誰を・何を(対象)	中学校
	どのようにしたいか(意図)	生徒が安全な場所と感じることができる教育環境の確保に向け、施設・設備を維持管理します。

事業費(千円)	2021(R3) 年度決算額	2022(R4) 年度決算額 対前年比(%)	2023(R5) 年度予算額 対前年比(%)
	3,290	5,696 173%	6,134 108%

財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0
	受益者負担	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	3,290	5,696 173%	6,134 108%		

職員数(人)	0.24	0.24	100%	0.24	100%
--------	------	------	------	------	------

主な事業実績(評価指標)	2020(R2)			2021(R3)			2022(R4)			単位
	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	

指標①	委託件数									件
	10	-	-	10	-	-	10	-	-	

指標②	-									
-----	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

主な事業内容	業務委託の実施 プール循環ろ過機保守点検業務、浄化槽保守点検業務、電気設備保守点検業務、小中学校放送設備保守点検業務、給排水衛生機器設備保守点検業務、消防用設備等保守点検業務、給食用ダムウエーター保守点検業務、小中学校遊具及び体育用具施設保守点検業務、防犯等警備業務、エレベーター保守点検業務
--------	---

成果	保守点検業務委託を実施することにより、施設・設備の老朽化による劣化や損傷等が早期に発見でき、速やかな修繕につなげられ、安全な場所と感じることができる教育環境の確保に寄与しました。
----	---

課題	施設・設備の老朽化が進み、点検による不具合が多くなっており、多くの施設・設備で修繕、更新が必要となっています。
----	---

評価視点						総合評価								
必要性			有効性			効率性			A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しを検討 D: 事業の統合・休廃止を検討					
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	A		
			○				○				○			

今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等							
成果の方向性	拡充			施設、設備の適期点検により、不具合を早期に発見し対応することで、円滑な学校運営、生徒等の安全確保を行います。							
	現状維持		○								
	縮小										
	休廃止										

コスト投入の方向性				
	皆減	縮小	現状維持	拡大

1 施策の位置づけ

施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	58	頁
施策	1 生涯学習					
施策の目標	住民が生涯にわたって学習できる環境を整えます	SDGs	4、11、17			
施策の概要	誰もが生涯にわたって自由に学び、成果を活かすことができる環境づくりを推進します。					

2 取組の成果指標

指標名	単位	基準値	実績値					目標値
		2017(H29)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2023(R5)
新規教室・講座参加者率	%	60.7	76.8	76.1	86.0	77.0		75.0
中央図書館の来館者数	人	157,651	125,717	78,428	95,284	111,260		158,000

3 施策を構成する事業の評価(取組別)

取組①	生涯学習機会の充実							
取組の概要	様々な住民のニーズに対応し、多くの住民へ生涯学習の機会をつくります。							
番号	施策を構成する事業名	担当課	事業費(千円)			方向性		重点化
			2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	成果	コスト	
1	社会教育委員事業	生涯学習課	186	249	338	現状維持	現状維持	
2	社会教育一般管理事業	生涯学習課	3,427	3,917	4,885	現状維持	現状維持	
3	文化センター事業	生涯学習課	6,140	4,519	4,763	現状維持	現状維持	◎
4	地区コミュニティセンター等事業	生涯学習課	184	513	456	現状維持	現状維持	
取組②	図書館機能・サービスの充実							
取組の概要	住民の知の拠点として魅力ある図書館運営を目指します。							
番号	施策を構成する事業名	担当課	事業費(千円)			方向性		重点化
			2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	成果	コスト	
1	中央図書館運営管理事業	生涯学習課	0	109,469	109,736	現状維持	現状維持	○
取組③	青少年育成の環境づくり							
取組の概要	家庭、地域、行政が一体となって青少年の健全育成活動を進めます。							
番号	施策を構成する事業名	担当課	事業費(千円)			方向性		重点化
			2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	成果	コスト	
1	青少年教育事業	生涯学習課	1,420	2,167	2,310	現状維持	現状維持	
取組④	社会教育施設の整備							
取組の概要	住民が学習しやすい環境の確保に向けた計画的な改修、更新を推進します。							
番号	施策を構成する事業名	担当課	事業費(千円)			方向性		重点化
			2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	成果	コスト	
1	文化センター維持管理事業	生涯学習課	12,799	19,675	27,441	現状維持	現状維持	
2	文化センター施設整備事業	生涯学習課	18,409	2,117	50,606	現状維持	現状維持	
3	地区コミュニティセンター等維持管理事業	生涯学習課	26,872	34,370	43,708	現状維持	現状維持	
4	地区コミュニティセンター等施設整備事業	生涯学習課	58,714	42,322	59,815	現状維持	現状維持	

4 施策の評価

評価視点	評価内容
成果指標の分析	<p>2022年5月1日から一部の部屋を除き文化センターの貸館を再開しました。文化センターでの教室・講座企画数も増えましたが、新型コロナウイルス感染症の影響が拭えないためか「新規教室・講座参加者率」は前年より低下しました。</p> <p>中央図書館の来館者数は新型コロナウイルス感染症が落ち着き開館日が増えたこと、指定管理者のアイデアによる新しい企画等の実施などにより、感染拡大以前の水準近くまで回復しました。</p>
事業構成の適正化	<p>地域学校協働活動の推進を図っていく必要があるため、今後、事業の進め方を含め、事業構成のあり方を検討していきます。</p>
事業の重点化	<p>新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けが5類に移行したことにより、感染拡大以前の状況に戻りつつありますが、2022年度の新規講座・教室の参加率は前年度に比べ減少しました。参加したくなるような魅力的な講座・教室が企画できるよう、ニーズの把握と情報収集を図り、積極的に内容を見直して参加率の増加を目指します。</p>
協働の進め方	<p>親子ふれあいイベントでは、青少年育成の観点から東浦高校の生徒に企画段階から参加してもらい、参加した生徒からは、普段接する機会のない住民の方とふれあうことができ楽しかったという意見がありました。今後も積極的に高校生の参加を募って協働でイベントを作り上げるとともに青少年の育成を図ります。</p>

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり			項	2 生涯学習			掲載	58 頁		
	施策	1 生涯学習			取組	1 生涯学習機会の充実						
事業名		社会教育委員事業				SDGs	4, 17					
担当課		教育部 生涯学習課 生涯学習係										
目的	誰を・何を(対象)	社会教育委員会議										
	どのようにしたいか(意図)	より良い会議運営を行うとともに、社会教育委員からの意見を参考にして、社会教育に関する諸計画の立案や振興方策等に役立てます。										
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額			2022(R4) 年度決算額 対前年比(%)			2023(R5) 年度予算額 対前年比(%)				
		186			249 134%			338 136%				
財源内訳	国・県支出金	0			0 0			0 0				
	受益者負担	0			0 0			0 0				
	その他特定財源	0			0 0			0 0				
	一般財源	186			249 134%			338 136%				
職員数(人)		0.03			0.05 167%			0.07 140%				
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)			2021(R3)			2022(R4)			単位	
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率		
指標①		-			-			-				
指標②		-			-			-				
主な事業内容		<p>社会教育委員会議の実施(主な議題は以下のとおり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度事業実績及び当年度事業計画 ・翌年度における取組 ・2025年度研究発表に向けた小委員会の開催 										
成果		<p>社会教育委員会を2回開催し、各委員からの意見聴取や自由討議の時間を新たに設けるなど、会議の内容について改善を行いました。また、社会教育委員連絡協議会東尾張支部における研究発表会に向けた準備かつ活発な意見が出されるような会議運営のため、小委員会を3回開催しました。</p>										
課題		<p>会議内容の改善により、教育委員会の諮問に対して意見が出されるようになりましたが、社会教育に関する諸計画の立案には至っていません。</p>										
評価視点								総合評価				
必要性				有効性				効率性				
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	A
			○				○				○	
今後の方向性						事業の改善点・今後の具体的な取組等						
成果の方向性	拡充					<p>引き続き、社会教育委員より活発な意見が出されるような委員会運営を行います。</p> <p>・研究発表会に向けた準備かつ研究を進めるとともに、社会教育に関する諸計画の立案に向けて、小委員会を開催します。</p>						
	現状維持				○							
	縮小											
	休廃止											
		皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性						

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	58	頁				
	施策	1 生涯学習	取組	1 生涯学習機会の充実							
事業名		社会教育一般管理事業		SDGs	4, 17						
担当課		教育部 生涯学習課 生涯学習係									
目的	誰を・何を(対象)	住民									
	どのようにしたいか(意図)	社会教育活動の機会の提供や活動を支援することにより、住民の自主的な活動を活発にします。									
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額	2022(R4) 年度決算額	対前年比(%)	2023(R5) 年度予算額	対前年比(%)					
		3,427	3,917	114%	4,885	125%					
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0					
	受益者負担	0	0	0	0	0					
	その他特定財源	0	0	0	0	0					
	一般財源	3,427	3,917	114%	4,885	125%					
職員数(人)		0.25	0.29	116%	0.44	152%					
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)		2021(R3)			2022(R4)			単位	
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値		達成率
指標①		高齢者教室の定員数に対する参加率									%
		-	80	-	-	80	-	85	80	106%	
指標②		生涯学習あんない「いきいき生涯学習ネット」掲載団体数(サークル編)※体育・スポーツ及び福祉関係除く。									団体
		90	120	75%	122	120	102%	121	120	101%	
主な事業内容		①高齢者教室委託事業(老人クラブの企画による高齢者向け講座) ②講座教室の内容を冊子にした「生涯学習あんない」を発行 ③家庭教育事業(家庭教育講座) ④親子ふれあい委託事業									
成果		①高齢者教室委託事業は新型コロナウイルス感染症の影響により中止していましたが、3年ぶりに開催しました。 ②「生涯学習あんない」講座・イベント編(年2回)、サークル編(年1回)を発行することにより、生涯学習情報を提供できました。 ③家庭教育に係る講演会を実施することで、親子のコミュニケーション術を学ぶ機会を提供しました。 ④親子ふれあい委託事業は北中おやじの会の活動により実施することで親子のふれあいの機会を提供しました。									
課題		①高齢者教室は地域の特性に応じた内容とするため、各地区の老人クラブに委託していますが、教室の企画・運営が負担となっている地区もあります。 ②「生涯学習あんない」の講座実施後、講座受講が一過性にならず、受講者がサークルを組織し、継続につなげていく働きかけが必要です。									
評価視点						総合評価					
必要性			有効性			効率性					
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い
		○					○				○
A											
今後の方向性						事業の改善点・今後の具体的な取組等					
成果の方向性	拡充					①老人クラブに委託することで、高齢者による高齢者のための講座を催す仕組みとなっています。老人クラブの負担が大きくならないよう、サポートをしながら事業を進めていきます。					
	現状維持			○		②「生涯学習あんない」は、講座受講者がサークルを組織し継続してもらうことで、生涯学習団体の増加が見込めます。魅力的な講座企画や運営を行い、参加者を増やし、定期的な活動を行えるように促していきます。					
	縮小										
	休廃止										
		皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性					

事業名		社会教育一般管理事業		担当課	生涯学習課 生涯学習係			
No.	細事業名	概要			2022(R4) 年度 決算額 (千円)	2023(R5) 年度 予算額 (千円)	今後の方向性	
		対象	手段	意図			成果	コスト
1	親子ふれあい委託事業	児童・生徒とその親、親の会	子どもとのふれあいの催しを実施することで	親子の思い出を作ってもらいます。	3,210	3,271	現状維持	現状維持
2	東浦町高齢者教室委託事業	高齢者、老人クラブ	高齢者による高齢者のための講座を実施することで	生きがいや学びの場を設けます。	309	540	現状維持	現状維持
3	PTA連絡協議会補助事業 (2022年度中止)	東浦町PTA連絡協議会	補助金を交付することによって	子どもの教育や地域貢献してもらいます。	0	72	現状維持	現状維持
4	婦人会補助事業	東浦町婦人会連絡協議会	補助金を交付することによって	地域に貢献してもらいます。	89	140	現状維持	現状維持
5	家庭教育事業	未成年の子を持つ親	講演を開催することによって	家庭教育への理解を深めます。	190	315	現状維持	現状維持
6	「生涯学習あんない」 発行事業	住民	冊子を発行することによって	様々な講座・教室があることを知ってもらいます。	119	187	現状維持	現状維持
7	以下、2023年度新規事業							
8	地域学校協働活動推進事業	地域住民と学校	活動を推進することによって	学校を核とした地域づくりを図ります。	0	360		
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
事務事業合計					3,917	4,885	現状維持	現状維持

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	58	頁					
総合計画	施策	1 生涯学習	取組	1 生涯学習機会の充実								
事業名		文化センター事業		SDGs		4、17						
担当課		教育部 生涯学習課 生涯学習係										
目的	誰を・何を(対象)	住民										
	どのようにしたいか(意図)	幅広い分野や専門性の高い内容の教室・講座を開催することで、サークル活動等を盛んにします。また、利用者自身で企画や立案、運営を行うマイスタディ講座やマイプロデュース講座を行い自主的な活動を促します。										
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額	2022(R4) 年度決算額	対前年比(%)	2023(R5) 年度予算額	対前年比(%)						
		6,140	4,519	74%	4,763	105%						
財源内訳	国・県支出金	499	0	0%	0	0						
	受益者負担	265	351	132%	686	195%						
	その他特定財源	0	0	0	0	0						
	一般財源	5,376	4,168	78%	4,077	98%						
職員数(人)		0.95	0.82	86%	0.69	84%						
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)		2021(R3)			2022(R4)			単位		
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値		達成率	
指標①		文化センターの新規教室・講座参加率									%	
		76	75	101%	86	75	115%	77	75	103%		
指標②		文化センターで実施する講座・教室の定員に対する受講率									%	
		80	75	107%	86	75	115%	79	75	105%		
主な事業内容		<ul style="list-style-type: none"> 子ども向け、託児付、青少年、料理、その他一般向け講座 マイスタディ講座(学びたい人が自ら企画・運営) マイプロデュース講座(教えたいたい人が自ら企画・運営) ICTプログラミング講座 										
成果		<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響があるなか、以下のとおり講座を実施したことにより生涯学習の振興及び自主的な活動の促進に寄与しました。 講座数 32講座 開催回数 86回 受講者数 370人 定員数 468人 受講率 79% うちマイプロデュース講座 講座数 6講座 開催回数 23回 受講者数 52人 定員数 61人 受講率 85% ICTプログラミング講座を実施し、将来的なICT教育の発展に向けた取組につなげることができました。 ロボットコース 開催回数 6回 受講者数 12人 定員数 12人 受講率 100% ゲームコース 開催回数 6回 受講者数 10人 定員数 10人 受講率 100% 										
課題		<ul style="list-style-type: none"> 定員に満たない講座もあったため、住民のニーズを把握し、地域・世代間の連携・交流を促す講座など、興味を持ってもらえる講座の計画が必要です。 ICTプログラミング講座が、継続的かつ発展的に学ぶ機会を提供できるよう自立した地域型のICTクラブの設立につなげられるかが課題です。 										
評価視点						総合評価						
必要性			有効性			効率性			A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しを検討 D: 事業の統合・休廃止を検討			
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	B
今後の方向性						事業の改善点・今後の具体的な取組等						
成果の方向性	拡充					<ul style="list-style-type: none"> 講座終了時、受講者にアンケートを行い、ニーズを把握し、新規講座の開設や既存講座の改善につなげていきます。また、魅力的な講座名やキャッチコピーをつけるなど、住民に興味を持ってもらえるように広報活動をしていきます。 企業や大学などからの新規講座の提案も増えてきていることから、新たな講座開設について検討していきます。 ICT教育の実施に向けた取組が継続的かつ発展的に学ぶ機会を提供できるよう、講師となる人材の育成に向けた受講対象者の拡大を考えていきます。 						
	現状維持				○							
	縮小											
	休廃止											
		皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性						

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり		項	2 生涯学習		掲載	58 頁																																																		
	施策	1 生涯学習		取組	1 生涯学習機会の充実																																																					
事業名		地区コミュニティセンター等事業			SDGs	4, 17																																																				
担当課		教育部 生涯学習課 生涯学習係																																																								
目的	誰を・何を(対象)	住民																																																								
	どのようにしたいか(意図)	地区の文化活動の拠点として、住民のみなさんのニーズに応じた各種教室・講座を開催することで生涯にわたって自由に学び、成果を活かすことができますようにします。																																																								
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額		2022(R4) 年度決算額 対前年比(%)		2023(R5) 年度予算額 対前年比(%)																																																				
		184		513 279%		456 89%																																																				
財源内訳	国・県支出金	0		0 0		0 0																																																				
	受益者負担	119		245 206%		292 119%																																																				
	その他特定財源	0		0 0		0 0																																																				
	一般財源	65		268 412%		164 61%																																																				
職員数(人)		0.15		0.16 107%		0.15 94%																																																				
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)		2021(R3)			2022(R4)			単位																																																
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値		達成率																																															
指標①		地区コミュニティセンター等の新規教室・講座参加率																																																								
		90	75	120%	86	75	115%	76	75	101%	%																																															
指標②		地区コミュニティセンター等で実施する講座・教室の定員に対する受講率																																																								
		84	75	112%	87	75	116%	85	75	113%	%																																															
主な事業内容		子ども向け、料理、運動、その他一般講座の実施																																																								
成果		新型コロナウイルス感染症の影響があるなか、以下の講座実施数等により生涯学習の振興及び自主的な活動の促進に寄与しました。																																																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>講座数</th> <th>開催回数</th> <th>受講者数</th> <th>定員数</th> <th>受講率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>森岡コミュニティセンター</td> <td>3</td> <td>12</td> <td>35</td> <td>42</td> <td>83%</td> </tr> <tr> <td>綾川コミュニティセンター</td> <td>3</td> <td>11</td> <td>26</td> <td>36</td> <td>72%</td> </tr> <tr> <td>卯ノ里コミュニティセンター</td> <td>3</td> <td>7</td> <td>38</td> <td>39</td> <td>97%</td> </tr> <tr> <td>石浜コミュニティセンター</td> <td>3</td> <td>11</td> <td>25</td> <td>32</td> <td>78%</td> </tr> <tr> <td>生路コミュニティセンター</td> <td>3</td> <td>8</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>藤江公民館</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>21</td> <td>28</td> <td>75%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>17</td> <td>54</td> <td>180</td> <td>212</td> <td>85%</td> </tr> </tbody> </table>										講座数	開催回数	受講者数	定員数	受講率	森岡コミュニティセンター	3	12	35	42	83%	綾川コミュニティセンター	3	11	26	36	72%	卯ノ里コミュニティセンター	3	7	38	39	97%	石浜コミュニティセンター	3	11	25	32	78%	生路コミュニティセンター	3	8	35	35	100%	藤江公民館	2	5	21	28	75%	合計	17	54	180	212	85%
	講座数	開催回数	受講者数	定員数	受講率																																																					
森岡コミュニティセンター	3	12	35	42	83%																																																					
綾川コミュニティセンター	3	11	26	36	72%																																																					
卯ノ里コミュニティセンター	3	7	38	39	97%																																																					
石浜コミュニティセンター	3	11	25	32	78%																																																					
生路コミュニティセンター	3	8	35	35	100%																																																					
藤江公民館	2	5	21	28	75%																																																					
合計	17	54	180	212	85%																																																					
課題		夏休みにおける子ども向けの講座やヨガ教室などの人気がある講座だけではなく、新しい講座メニューを見つける試みが必要です。																																																								
評価視点						総合評価																																																				
必要性			有効性			効率性			A																																																	
低い	やや低い	○	高い	低い	○	低い	○	高い																																																		
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い																																																			
今後の方向性						事業の改善点・今後の具体的な取組等																																																				
成果の方向性	拡充					地域による地域のための講座を開催していきます。また、各地区のニーズを把握して新規講座の開設や既存講座の改善につなげ、魅力的な講座名やキャッチコピーをつけるなど、住民に興味を持ってもらえるように広報活動をしていきます。																																																				
	現状維持			○																																																						
	縮小																																																									
	休廃止																																																									
		皆減	縮小	現状維持	拡大																																																					
		コスト投入の方向性																																																								

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	58	頁
	施策	1 生涯学習	取組	2 図書館機能・サービスの充実			

事業名	中央図書館運営管理事業	SDGs	4, 11, 17
-----	-------------	------	-----------

担当課	教育部 生涯学習課 生涯学習係
-----	-----------------

目的	誰を・何を(対象)	利用者
	どのようにしたいか(意図)	図書館サービスを継続かつ発展させ、社会的環境の変化や利用者ニーズの多様化に対応し、図書館サービスを向上させます。

事業費(千円)	2021(R3) 年度決算額	2022(R4) 年度決算額	対前年比(%)	2023(R5) 年度予算額	対前年比(%)
	0	109,469	0	109,736	100%

財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	
	受益者負担	0	10	0	110%	
	その他特定財源	0	80	0	165	206%
	一般財源	0	109,379	0	109,560	100%

職員数(人)	0.00	1.27	0	0.66	52%
--------	------	------	---	------	-----

主な事業実績(評価指標)	2020(R2)			2021(R3)			2022(R4)			単位
	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	

指標①	イベント・講座の開催数									件
	9	16	56%	19	19	100%	22	15	147%	

指標②	-									
-----	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

主な事業内容	2022年度から指定管理者制度を導入し、次の業務を実施しています。 ・図書館資料の収集と提供 ・よむらびフェスタを始めとする諸行事の企画・実施 ・子ども読書活動推進、ブックスタート事業での行政・ボランティアグループ等との連携 ・電子書籍の導入 ・資料へのICタグの貼付 ・中央図書館の工事修繕
--------	--

成果	・図書館資料の貸出し点数: 一般書113,835点、児童書125,823点、視聴覚資料11,286点、雑誌17,237点 ・各種講座、イベントの実施: 9講座、13イベント ・リサイクルフェアの実施: 本(2回)6,494冊、雑誌(1回)1,283冊 ・電子書籍所蔵数: 848点 ・ICタグ貼付資料数: 31,479点 ・ブックスタート絵本交換率: 71.47%
----	---

課題	・電子書籍を導入しましたが利用数が伸びないため、利用者のニーズを把握し資料購入を進めるとともに、広くPRを行う必要があります。 ・2024年度末までに全ての資料にICタグが装備されるため、どのような形でICタグの活用を図るのか検討を行っていく必要があります。
----	--

評価視点									総合評価		
必要性			有効性			効率性			A		
低い	やや低い	○	高い	低い	やや低い	○	高い	低い	やや低い	○	高い

今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等							
成果の方向性	拡充			・電子書籍の利用促進を図るため、学校現場で利用してもらうための取組を進めます。 ・2025年度の図書館システム更新に合わせてICタグ対応機器を導入するため、先進図書館の事例などの情報収集を行い、検討を進めます。 ・ブックスタートの効果を高めるため、4か月健診時の引換券を取り止め、全員に絵本をプレゼントします。 ・郷土資料の有効活用を図り、施設相互のPRも兼ねて郷土資料館と連携した展示企画や講座を実施します。							
	現状維持		○								
	縮小										
	休廃止										
コスト投入の方向性											
皆減		縮小	現状維持	拡大							

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	58	頁				
	施策	1 生涯学習	取組	3 青少年育成の環境づくり							
事業名		青少年教育事業		SDGs	4, 17						
担当課		教育部 生涯学習課 生涯学習係									
目的	誰を・何を(対象)	青少年									
	どのようにしたいか(意図)	青少年自らが企画、運営に参加する機会を通して、考え行動する能力を養い、町や地域で活躍できる人材を育みます。									
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額	2022(R4) 年度決算額	対前年比(%)	2023(R5) 年度予算額	対前年比(%)					
		1,420	2,167	153%	2,310	107%					
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0					
	受益者負担	57	21	37%	30	143%					
	その他特定財源	0	0	0	0	0					
	一般財源	1,363	2,146	157%	2,280	106%					
職員数(人)		0.26	0.41	158%	0.33	80%					
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)		2021(R3)			2022(R4)			単位	
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値		達成率
指標①		ミュージックフェスティバル参加者数									人
		-	350	-	-	350	-	306	350	87%	
指標②		成人式(二十歳のつどい)への出席率									%
		83	100	83%	84	85	99%	82	85	96%	
主な事業内容		①ミュージックフェスティバル委託事業 対象 音楽愛好家(実行委員会は青少年を中心に運営) 内容 音楽イベントの企画及び運営全般 ②二十歳のつどい委託事業 対象 20歳を迎える方(実行委員は町内3中学校の卒業生から選出) 内容 式の企画及び運営全般									
成果		①新型コロナウイルス感染症の影響により中止していましたが、3年ぶりに開催しました。 ②実行委員会を5回開催し、青少年自らが企画、運営に参加する機会となりました。 2023年1月8日二十歳のつどい 出席者:425名									
課題		①運営スタッフの入れ替わりがないため、青少年の協力者を増やす必要があります。 ②実行委員の自発的な行動もあまり見られないため、実行委員自ら考え行動する組織づくりが必要です。									
評価視点						総合評価					
必要性			有効性			効率性			A		
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い
今後の方向性						事業の改善点・今後の具体的な取組等					
成果の方向性	拡充					①高校生参加の働きかけなどを行い、青少年の運営スタッフの増員に努め、年代を問わず参加できるものに改善していきます。 ②実行委員会では、委員主体で動かせるような会の運営に努め、魅力ある式典にしていくように働きかけていきます。					
	現状維持			○							
	縮小										
	休廃止										
		皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性					

事業名		青少年教育事業		担当課	生涯学習課 生涯学習係			
No.	細事業名	概要			2022(R4) 年度 決算額 (千円)	2023(R5) 年度 予算額 (千円)	今後の方向性	
		対象	手段	意図			成果	コスト
1	ミュージックフェスティバル委託事業	音楽愛好家	主に軽音楽によるコンサートイベントを実施することで	音楽の楽しさを体験させます。	350	400	現状維持	現状維持
2	二十歳のつどい委託事業	20歳を迎える方	20歳を迎える方への祝意を表し自ら実行委員会を組織し式を実施することで	20歳となった自覚を促します。	1,420	1,486	現状維持	現状維持
3	ボーイスカウト補助金事業	東浦ボーイスカウト第1団、第2団	補助金を交付することで	社会貢献を促します。	180	180	現状維持	現状維持
4	親子ふれあい事業	小中高生	イベントを企画し、実施に参加してもらうことよって	体験により子どもたちの内面の成長につなげます。	162	187	現状維持	現状維持
5	青少年対策事業	青少年	啓発等の実施によって	青少年の健全かつ善良なこころの成長につなげます。	55	57	現状維持	現状維持
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
事務事業合計					2,167	2,310	現状維持	現状維持

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	58	頁	
	施策	1 生涯学習	取組	4 社会教育施設の整備				
事業名		文化センター維持管理事業		SDGs	4、11、17			
担当課		教育部 生涯学習課 生涯学習係						
目的	誰を・何を(対象)	文化センター						
	どのようにしたいか(意図)	住民が快適に施設を利用できるよう、適切な維持管理を行います。						
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額	2022(R4) 年度決算額	対前年比(%)	2023(R5) 年度予算額	対前年比(%)		
		12,799	19,675	154%	27,441	139%		
財源内訳	国・県支出金	7,327	2,365	32%	0	0%		
	受益者負担	10	740	7400%	767	104%		
	その他特定財源	15	33	220%	38	115%		
	一般財源	5,447	16,537	304%	26,636	161%		
職員数(人)		1.01	1.34	133%	1.08	81%		
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)		2021(R3)		2022(R4)		単位
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	
指標①		-	-	-	-	-	-	
指標②		-	-	-	-	-	-	
主な事業内容		文化センターを運営していくための維持管理及び軽微な修繕 ・光熱水費の支払い ・消防設備、空調、エレベーター、受水槽、印刷機の保守点検 ・管理委託の実施 ・草刈り、植栽のせん定等の実施 ・設備の点検調整 ・公用車の点検整備						
成果		施設の各設備の検査点検、防犯警備委託及び光熱水費の支払いを実施し、適切な維持管理を行うことで、利用者が安心して使用できる施設を保つことができました。 ・水道の漏水が発生しましたが、迅速に対応し最小限の損害に抑えました。 ・消防設備が故障しましたが、迅速に対応し有事への備えを行いました。 ・敷地内において倒木の恐れのある樹木を伐採し、利用者の安全を確保しました。						
課題		設備の老朽化が原因と思われる故障等が多くなっています。						
評価視点						総合評価		
必要性		有効性		効率性		A		
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	
			○				○	
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等				
成果の方向性	拡充				・委託料や電気代などのコストについては、最適であるか定期的に前年度との比較等により確認していく必要があるため、引き続き確認を行います。 ・施設、設備に不具合が発生していないか保守点検の結果等の確認を行い、必要に応じて修繕を行っていきます。			
	現状維持			○				
	縮小							
	休廃止							
		皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性		

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	58	頁	
	施策	1 生涯学習	取組	4 社会教育施設の整備				
事業名		文化センター施設整備事業		SDGs	4、11、17			
担当課		教育部 生涯学習課 生涯学習係						
目的	誰を・何を(対象)	文化センター						
	どのようにしたいか(意図)	必要な改修工事等を行い、建物の性能を維持することで、長寿命化を図ります。						
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額	2022(R4) 年度決算額	対前年比(%)	2023(R5) 年度予算額	対前年比(%)		
		18,409	2,117	11%	50,606	2390%		
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0		
	受益者負担	0	0	0	0	0		
	その他特定財源	0	0	0	1	0		
	一般財源	18,409	2,117	11%	50,605	2390%		
職員数(人)		0.42	0.33	79%	0.39	118%		
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)		2021(R3)		2022(R4)		単位
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	
指標①		-		-		-		
指標②		-		-		-		
主な事業内容		文化センターの維持に必要な工事及び設計の実施。(軽微な修繕を除く) ①特定建築物定期調査結果への対応工事 ②エレベーター照明LED化工事 ③空調室内機部品取替工事 ④屋根等改修工事設計業務委託						
成果		①特定建築物定期調査の結果を受け、問題箇所を改善することができました。 ②エレベーター照明のLED化を行い、継続して設備を利用できるよう整備しました。 ③空調室内機を修理し、利用者が快適に施設を利用できるよう整備しました。 ④屋根等改修工事の設計業務を行い、施設の長寿命化に向けた工事に備えました。						
課題		建設から45年経過し、施設の老朽化が進んでいるため、今後も改修が必要になると考えられます。標準耐用年数の60年から目標耐用年数の80年まで施設を使っていけるように状態をみて計画的に改修していく必要があります。						
評価視点					総合評価			
必要性		有効性		効率性		A		
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	
			○				○	
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等				
成果の方向性	拡充							
	現状維持			○				
	縮小							
	休廃止							
		皆減	縮小	現状維持	拡大			
		コスト投入の方向性						
今後の改修について、劣化や故障がないか継続的に注視しながら計画的に実施していきます。2023年度については、屋根等改修工事や照明機器のLED化を実施し、施設の長寿命化を図ります。								

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	58	頁
	施策	1 生涯学習	取組	4 社会教育施設の整備			

事業名		地区コミュニティセンター等維持管理事業			SDGs		4、11、17	
担当課		教育部 生涯学習課 生涯学習係						
目的	誰を・何を(対象)	地区コミュニティセンター(藤江を除く)及び藤江公民館						
	どのようにしたいか(意図)	住民が快適に施設を利用できるよう、適切な維持管理を行います。						
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額		2022(R4) 年度決算額 対前年比(%)		2023(R5) 年度予算額 対前年比(%)		
		26,872		34,370 128%		43,708 127%		
財源内訳	国・県支出金	0		0 0		0 0		
	受益者負担	2,301		3,623 157%		3,263 90%		
	その他特定財源	106		212 200%		166 78%		
	一般財源	24,465		30,535 125%		40,279 132%		
職員数(人)		0.71		0.97 137%		0.88 91%		
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)		2021(R3)		2022(R4)		単位
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	
指標①		-		-		-		
指標②		-		-		-		
主な事業内容		地区コミュニティセンター及び藤江公民館を運営していくための維持管理及び軽微な修繕 ・夜間土日等の管理委託 ・保守点検(電気設備・消防用設備・空調設備) ・清掃委託 ・浄化槽維持管理委託 ・防犯警備業務委託 ・建築物定期検査委託 ・光熱水費の支払い等						
成果		施設の各設備の検査点検、防犯警備委託及び光熱水費の支払いを実施し、適切な維持管理を行うことで、利用者が安心して使用できる施設を保つことができました。 ・森岡コミュニティセンターでは、自動火災報知設備の修繕等を行いました。 ・緒川コミュニティセンターでは、空調機の修繕等を行いました。 ・卯ノ里コミュニティセンターでは、避難誘導灯の修繕等を行いました。 ・石浜コミュニティセンターでは、屋外タイルの補修等を行いました。 ・生路コミュニティセンターでは、空調機の修繕等を行いました。 ・藤江公民館では、漏水に伴う緊急修繕等を行いました。						
課題		設備の老朽化が原因と思われる故障等が多くなっています。						

評価視点										総合評価			
必要性			有効性			効率性				A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しを検討 D: 事業の統合・休廃止を検討			
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い				
										A			

今後の方向性					事業の改善点・今後の具体的な取組等				
成果の方向性	拡充				・委託料や電気代などのコストについては、最適であるか定期的に前年度との比較等により確認していく必要があるため、引き続き確認を行います。 ・施設、設備に不具合が発生していないか保守点検の結果等の確認を行い、必要に応じて修繕を行っていきます。				
	現状維持			○					
	縮小								
	休廃止								
皆減 縮小 現状維持 拡大 コスト投入の方向性									

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	58	頁		
	施策	1 生涯学習	取組	4 社会教育施設の整備					
事業名		地区コミュニティセンター等施設整備事業		SDGs	4、11、17				
担当課		教育部 生涯学習課 生涯学習係							
目的	誰を・何を(対象)	地区コミュニティセンター(藤江を除く)及び藤江公民館							
	どのようにしたいか(意図)	必要な改修工事等を行い、建物の性能を維持することで、長寿命化を図ります。							
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額	2022(R4) 年度決算額	対前年比(%)	2023(R5) 年度予算額	対前年比(%)			
		58,714	42,322	72%	59,815	141%			
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0			
	受益者負担	0	0	0	0	0			
	その他特定財源	5	1	20%	1	100%			
	一般財源	58,709	42,321	72%	59,814	141%			
職員数(人)		0.22	0.36	164%	0.33	92%			
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)		2021(R3)		2022(R4)		単位	
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率		
指標①		-		-		-			
指標②		-		-		-			
主な事業内容		地区コミュニティセンター(藤江を除く)及び藤江公民館の維持に必要な工事及び設計の実施。 (軽微な修繕を除く) ①トイレ改修工事(卯ノ里) ②空調機更新工事(石浜) ③舞台吊物改修工事(森岡、緒川、卯ノ里) ④電気設備フェンス改修工事(森岡) ⑤空調機更新工事設計業務委託(森岡)							
成果		①トイレの改修工事を行い、利用者が快適に施設を利用できるよう整備しました。 ②空調機の更新工事を行い、利用者が快適に施設を利用できるよう整備しました。 ③舞台吊物の改修工事を行い、利用者が安全に施設を利用できるよう整備しました。 ④電気設備フェンスの改修工事を行い、利用者が安全に施設を利用できるよう整備しました。 ⑤空調機更新工事の設計業務を行い、利用者の快適性の向上に向けた工事に備えました。							
課題		どの施設も建設から40年以上が経過し、施設の老朽化が進んでいるため、今後も改修が必要になると考えられます。標準耐用年数の60年から目標耐用年数の80年まで施設を使っているように状態をみて計画的に改修していく必要があります。							
評価視点						総合評価			
必要性			有効性			効率性			
		○			○			○	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	
A									
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等					
成果の方向性	拡充					今後の改修について、劣化や故障がないか継続的に注視しながら計画的に実施していきます。2023年度については、空調機更新工事や網戸取付工事等を実施し、施設の長寿命化及び利用者の快適性の向上を図ります。			
	現状維持			○					
	縮小								
	休廃止								
		皆減	縮小	現状維持	拡大				
		コスト投入の方向性							

1 施策の位置づけ

施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	62	頁
施策	2 スポーツ振興					
施策の目標	住民が生涯にわたってスポーツに親しむことができる環境を整えます			SDGs	3、11、17	
施策の概要	住民それぞれの目的やライフステージに応じて、いつでも気楽にスポーツに親しめる機会を創出し地域の交流を広げ、住民ネットワークづくり、スポーツ環境の充実を図ります。					

2 取組の成果指標

指標名	単位	基準値	実績値					目標値
		2017(H29)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2023(R5)
小学5年生男子の体力テストにおける総合評価(5段階評価)AとBの割合	%	46.9	37.4	-	34.0	31.0		50.0
小学5年生女子の体力テストにおける総合評価(5段階評価)AとBの割合	%	50.5	43.1	-	44.0	29.1		53.0
高齢者への体力テストの実施人数	人	232	168	13	9	-		335
町スポーツ協会(旧体育協会)の競技団体者登録者数	人	2,837	2,497	2,301	2,389	2,360		2,960
学校開放延利用者数	人	85,935	83,155	58,184	65,599	83,907		86,000

3 施策を構成する事業の評価(取組別)

取組①	子どもたちの体力向上							
取組の概要	子どもたちの運動をする機会の創設と環境を整えます。							
番号	施策を構成する事業名	担当課	事業費(千円)			方向性		重点化
			2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	成果	コスト	
1	社会体育一般事業	スポーツ課	3,212	7,260	7,284	現状維持	現状維持	
2	生涯スポーツ振興事業	スポーツ課	1,731	1,833	1,957	現状維持	現状維持	◎

取組②	高齢者の運動による健康への意識醸成							
取組の概要	高齢者の運動による健康増進の機会をつくり、介護予防へつなげます。							
番号	施策を構成する事業名	担当課	事業費(千円)			方向性		重点化
			2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	成果	コスト	
1	スポーツ推進委員事業	スポーツ課	1,587	2,499	2,625	現状維持	現状維持	
2	生涯スポーツ振興事業(再掲)	スポーツ課	1,731	1,833	1,957	現状維持	現状維持	◎

取組③	スポーツ活動団体の育成							
取組の概要	組織力の強化のため、スポーツ団体の活動を支援します。							
番号	施策を構成する事業名	担当課	事業費(千円)			方向性		重点化
			2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	成果	コスト	
1	学校体育施設スポーツ開放事業	スポーツ課	645	511	759	現状維持	現状維持	
2	社会体育一般事業(再掲)	スポーツ課	3,212	7,260	7,284	現状維持	現状維持	

取組④	スポーツ施設の整備							
取組の概要	住民の満足できるスポーツ環境の確保に向けた計画的な改修、更新を行います。							
番号	施策を構成する事業名	担当課	事業費(千円)			方向性		重点化
			2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	成果	コスト	
1	体育館・はなのき会館管理事業	スポーツ課	27,623	70,817	44,615	現状維持	現状維持	
2	グラウンド・コート管理事業	スポーツ課	44,225	19,955	18,751	現状維持	現状維持	
3	ふれあいセンター管理運営事業	スポーツ課	37,667	36,748	74,110	現状維持	現状維持	

4 施策の評価

評価視点	評価内容
成果指標の分析	各事業に、高齢者のみを対象にした取組がなく、高齢者への体力テストは、参加者数の伸び悩みに対し、効果的な解決策がない状況であったため、2022年度内部評価会議で事業の在り方を検討した結果、事業中止となりました。
事業構成の適正化	高齢者の運動による健康への意識醸成について、事業構成がスポーツ推進委員事業及び生涯スポーツ振興事業であり、高齢者に特化した事業がありません。 そのため、取組の概要を高齢者の運動による健康への意識醸成から、住民に向けたスポーツ振興へ変更します。また、小学5年生の体力テストにおける総合評価(5段階評価)AとBの割合とする成果指標の見直しを検討します。
事業の重点化	国は2023年度から2025年度末までの3年間で、休日部活動の地域連携・地域移行の改革推進期間と位置付けたため、生涯スポーツ振興事業を重点化し、休日活動の機会を確保するための体制づくりや、受入体制を整えます。
協働の進め方	スポーツ協会やスポーツ少年団、学校開放登録団体がグラウンド等の草刈りや清掃をすることや、スポーツ協会とともに東浦マラソンに従事することで、円滑な実施ができ、行政と協働ができています。

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり			項	2 生涯学習			掲載	62	頁	
	施策	2 スポーツ振興			取組	1 子どもたちの体力向上						
事業名		社会体育一般事業			SDGs	3、17						
担当課		教育部 スポーツ課 スポーツ係										
目的	誰を・何を(対象)	住民										
	どのようにしたいか(意図)	スポーツへの関心を高めます。										
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額			2022(R4) 年度決算額 対前年比(%)			2023(R5) 年度予算額 対前年比(%)				
		3,212			7,260 226%			7,284 100%				
財源内訳	国・県支出金	0			0 0			0 0				
	受益者負担	0			0 0			0 0				
	その他特定財源	0			2,640 0			0 0%				
	一般財源	3,212			4,620 144%			7,284 158%				
職員数(人)		1.71			1.35 79%			1.35 100%				
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)			2021(R3)			2022(R4)			単位	
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率		
指標①		東浦マラソン参加者数			-			-			人	
		-	3,000	-	-	3,000	-	1,076	1,500	72%		
指標②		-			-			-				
主な事業内容		①東浦マラソンの実施(12月第3日曜日、あいち健康の森公園メイン会場) ②ランニングイベント(大府市、愛三工業と合同)の実施(7月中学生以上、3月小学生以下) ③全国大会等出場者に対する激励金交付事業の実施 ④スポーツ協会への補助金の交付 ⑤スポーツ少年団事務局の運営										
成果		以下のとおり実施し、スポーツ環境の充実に図ることができました。 ①参加者【2020:中止、2021:中止、2022:1,076人】 ②【2020:7月中止、3月中止 2021:7月13人、3月44人 2022:7月11人、3月雨天中止】 ③【2020:個人21人、団体1件(12万円) 2021:個人34人、団体1件(28万円) 2022:個人99人】 ④スポーツ協会16部へ227万8千円(2021:227万8千円)の交付 ⑤スポーツ少年団13団へ19万5千円(1団15,000円)の交付										
課題		・東浦マラソンの大会準備等の運営に係る業務が、長期的であり、事務局に大きな負担がかかっています。 ・7月のランニングイベント(大人向け)は、参加者が低迷しています。 ・スポーツ協会やスポーツ少年団の登録者数が減少しています。										
評価視点								総合評価				
必要性			有効性			効率性		A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しを検討 D:事業の統合・休廃止を検討				
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	B
	○				○				○			
今後の方向性						事業の改善点・今後の具体的な取組等						
成果の方向性	拡充					・東浦マラソンについて、企画運営業務や参加者増加取組等、他市町の実施方法を研究します。 ・7月のランニングイベントについては新たに対象となった中学生の参加を増やすため、中学校に申込案内を直接配布を依頼します。 ・2023年9月から、学校部活動において休日の活動がなくなるため、休日のスポーツ活動の選択肢の一つとして、スポーツ協会やスポーツ少年団加の競技団体に、中学生の受け入れができるよう働きかけます。						
	現状維持			○								
	縮小											
	休廃止											
		皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性						

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	62	頁					
	施策	2 スポーツ振興	取組	1 子どもたちの体力向上								
事業名		生涯スポーツ振興事業		SDGs	3、17							
担当課		教育部 スポーツ課 スポーツ係										
目的	誰を・何を(対象)	住民、スポーツ団体、スポーツ指導者										
	どのようにしたいか(意図)	運動の機会を増やし、体力を向上させるとともに、運動による健康増進への意識を高めます。										
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額	2022(R4) 年度決算額	対前年比(%)	2023(R5) 年度予算額	対前年比(%)						
		1,731	1,833	106%	1,957	107%						
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0						
	受益者負担	415	540	130%	502	93%						
	その他特定財源	0	0	0	0	0						
	一般財源	1,316	1,293	98%	1,455	113%						
職員数(人)		0.49	0.29	59%	0.29	100%						
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)		2021(R3)		2022(R4)		単位				
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率					
指標①		スポーツ教室の受講者数										
		-	280	-	171	280	61%	212	280	76%	人	
指標②		スポーツ指導者養成講習会への延参加者数										
		100	180	56%	73	180	41%	139	180	77%	人	
主な事業内容		<ul style="list-style-type: none"> ・住民向けのスポーツ教室の実施 ・児童の体力向上プロジェクトの実施 ・中学校運動部活動に対する外部指導者派遣の実施 ・スポーツ指導者向けの講習会の実施 ・休日の学校部活動の地域連携・地域移行に向けた地域クラブの設立 										
成果		<ul style="list-style-type: none"> ・町内中学校の運動部活動に対して外部指導者18人を派遣することで、部員に対し専門的な指導ができ、学校部活動を充実させることができました。また、派遣先の中学校の教員の負担軽減につなげることができました。 ・スポーツ指導者養成講習会を実施することで、地域スポーツ指導者の素養を育むことができました。 ・学校と連携して、児童の体力向上プロジェクトを実施することで、学校と一体となって児童の意欲・体力の向上を図ることができました。また今後の課題や改善方法などについて共有することができました。 										
課題		<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ指導者養成講習会については、地域クラブの設立に向けて、中学生の指導に重点を置いた講座を開設する必要があります。 ・休日部活動の地域移行を推進するため、中学生がスポーツに継続して親しむことができる機会を確保することが急務とされています。 										
評価視点								総合評価				
必要性				有効性				効率性				A A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しを検討 D: 事業の統合・休廃止を検討
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	
			○				○				○	
今後の方向性						事業の改善点・今後の具体的な取組等						
成果の方向性	拡充					<ul style="list-style-type: none"> ・モラル、ハラスメント、救急法など、中学生の指導に実用的な講座を開設していきます。 ・部活動の地域連携・地域移行に向けた地域クラブの設立について、2023年9月開始を目標とし、取組を進めます。 						
	現状維持			○								
	縮小											
	休廃止											
		皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性						

事業名		生涯スポーツ振興事業			担当課	スポーツ課 スポーツ係		
No.	細事業名	概要			2022(R4) 年度 決算額 (千円)	2023(R5) 年度 予算額 (千円)	今後の方向性	
		対象	手段	意図			成果	コスト
1	スポーツ教室事業	スポーツ団体・スポーツ指導者	イベント等の開催・子ども向けのスポーツ支援をすることで	スポーツを始めるきっかけづくりや健康への意識醸成、子どもの体力向上を図ります。	1,237	1,032	縮小	縮小
2	児童の体力向上プロジェクト事業	住民	イベント等の開催・子ども向けのスポーツ支援をすることで	スポーツを始めるきっかけづくりや健康への意識醸成、子どもの体力向上を図ります。	126	239	現状維持	現状維持
3	学校部活動外部指導者派遣事業	スポーツ団体・スポーツ指導者	スポーツ指導者の派遣をすることで	スポーツ活動に参加しやすい環境の充実に図ります。	250	406	拡充	拡大
4	スポーツ指導者養成事業	スポーツ団体・スポーツ指導者	スポーツ指導者の育成をすることで	スポーツ活動に参加しやすい環境の充実に図ります。	85	130	拡充	拡大
5	地域クラブ事業	住民(中学生)	スポーツに継続して親しむことができる機会を確保することで	スポーツに親しむきっかけづくりや、体力向上を図ります。	135	150	拡充	拡大
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
事務事業合計					1,833	1,957	現状維持	現状維持

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	62	頁					
	施策	2 スポーツ振興	取組	2 高齢者の運動による健康への意識醸成								
事業名		スポーツ推進委員事業		SDGs 3、17								
担当課		教育部 スポーツ課 スポーツ係										
目的	誰を・何を(対象)	住民、スポーツ推進委員										
	どのようにしたいか(意図)	住民:スポーツ推進委員が指導するイベントに参加することで、健康意識及び体力を向上させます。 スポーツ推進委員:スポーツに関する知識・経験を深め、研修会を行うなど、住民に広くスポーツを推進させます。										
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額	2022(R4) 年度決算額	対前年比(%)	2023(R5) 年度予算額	対前年比(%)						
		1,587	2,499	157%	2,625	105%						
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0						
	受益者負担	0	0	0	0	0						
	その他特定財源	0	0	0	0	0						
	一般財源	1,587	2,499	157%	2,625	105%						
職員数(人)		0.80	0.52	65%	0.52	100%						
主な事業実績(評価指標)	2020(R2)		2021(R3)			2022(R4)			単位			
	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値		達成率		
指標①	スポーツイベント参加者数									人		
	-	380	-	103	380	27%	487	380	128%			
指標②	みんなでスポーツを楽しむ会 開催回数									回		
	77	144	53%	103	144	72%	133	144	92%			
主な事業内容		<ul style="list-style-type: none"> 毎月開催するスポーツ推進委員定例会や部会活動により、地域のスポーツ振興に寄与できるよう委員の資質向上を図っています。 スポーツイベントの開催(モルック体験会、カローリングを楽しもう、体力測定会、スポーツフェスタ、ウォーキングを楽しもう) みんなでスポーツを楽しむ会(各地区でのスポーツ推進活動)の開催 知多北地区スポーツ連絡協議会事業の実施(東海市、大府市、知多市との協働事業) 										
成果		<ul style="list-style-type: none"> 住民の健康増進の意識を高め、体力向上に寄与しました。 スポーツイベント開催回数:モルック体験会4回、カローリングを楽しもう1回、体力測定会1回、スポーツフェスタ1回、ウォーキングを楽しもう1回 (参加人数:モルック体験会延べ156人、カローリングを楽しもう60人、体力測定会78人、スポーツフェスタ188人、ウォーキングを楽しもう5人) みんなでスポーツを楽しむ会開催回数:133回 (開催回数内訳 卯ノ里小:30回、片葩小:34回、生路小:20回、藤江コミュニティーセンター:49回) 										
課題		<ul style="list-style-type: none"> 趣味や娯楽が多様化しているため、スポーツイベントの参加状況を踏まえ、住民のニーズに合わせたスポーツイベントを開催する必要があります。 みんなでスポーツを楽しむ会の参加者が固定されてきているため、新規参加者を増やす必要があります。 										
評価視点							総合評価					
必要性			有効性			効率性			A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しを検討 D:事業の統合・休廃止を検討			
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	B
		○										
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等								
成果の方向性	拡充											<ul style="list-style-type: none"> 住民の参加状況を踏まえ、ウォーキングを楽しもうの代わりにモルックのイベントを拡大し、新たに試合形式のイベントも開催するなど、多様なニーズに対応していきます。 みんなでスポーツを楽しむ会について、回覧板やイベント時の周知、学校へのチラシ配布など、広報活動を強化し、新規参加者を増やします。
	現状維持			○								
	縮小											
	休廃止											
		皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性						

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	62	頁				
	施策	2 スポーツ振興	取組	3 スポーツ活動団体の育成							
事業名		学校体育施設スポーツ開放事業		SDGs	3、17						
担当課		教育部 スポーツ課 スポーツ係									
目的	誰を・何を(対象)	住民									
	どのようにしたいか(意図)	身近でスポーツに親しみ、交流する場を提供します。									
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額	2022(R4) 年度決算額	対前年比(%)	2023(R5) 年度予算額	対前年比(%)					
		645	511	79%	759	149%					
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0					
	受益者負担	645	511	79%	759	149%					
	その他特定財源	0	0	0	0	0					
	一般財源	0	0	0	0	0					
職員数(人)		0.19	0.23	121%	0.23	100%					
主な事業実績(評価指標)	2020(R2)			2021(R3)			2022(R4)			単位	
	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率		
指標①	学校開放登録団体数									団体	
	104	100	104%	97	100	97%	101	100	101%		
指標②	-										
主な事業内容		町内の小中学校の体育館や運動場を学校教育の運営に支障のない範囲内で住民が利用できるよう開放しています。									
成果	既存団体を含め、空き状況を周知し新規登録団体の増加に努めました。										
		団体数(団体)	利用回数(回)	延べ利用者数(人)	登録者数(人)						
	2020	104	2,963	58,184	3,325						
	2021	97	3,307	65,599	3,483						
	2022	101	4,436	83,907	3,958						
課題		<ul style="list-style-type: none"> ・延べ100団体ほどが活動しており、体育館、運動場等の施設・備品管理や、利用登録・利用中止などの事務処理が煩雑になっています。 ・休日部活動の地域連携・地域移行に伴い、現在の学校開放登録団体が利用できなくなる可能性があるため、事業内容の見直しが必要です。 									
評価視点							総合評価				
必要性			有効性			効率性			A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しを検討 D: 事業の統合・休廃止を検討		
低い	やや低い	○	高い	低い	やや低い	○	高い	低い	やや低い	○	B
今後の方向性					事業の改善点・今後の具体的な取組等						
成果の方向性	拡充				<ul style="list-style-type: none"> ・学校や学校教育課と連携し、効果的・効率的な管理体制を強化します。また、施設管理を紙帳から電子システムに改め事務の効率化を図ります。 ・利用登録申請や利用報告などの手続きを電子申請システムに改めるなど、利用者の負担や事務処理時間の軽減を図ります。 ・2023年9月から、学校部活動において休日の活動がなくなるため、休日のスポーツ活動の選択肢の一つとして、登録団体に、中学生の受け入れができるよう働きかけます。 						
	現状維持			○							
	縮小										
	休廃止										
コスト投入の方向性		皆減	縮小	現状維持	拡大						

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	62	頁	
	施策	2 スポーツ振興	取組	4 スポーツ施設の整備				
事業名		体育館・はなのき会館管理事業		SDGs	11、17			
担当課		教育部 スポーツ課 スポーツ係						
目的	誰を・何を(対象)	体育館、はなのき会館						
	どのようにしたいか(意図)	利用者が満足できるスポーツ環境の確保に向けて、利用受付や維持管理を行います。						
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額	2022(R4) 年度決算額	対前年比(%)	2023(R5) 年度予算額	対前年比(%)		
		27,623	70,817	256%	44,615	63%		
財源内訳	国・県支出金	0	7,404	0	0	0%		
	受益者負担	2,366	3,038	128%	3,102	102%		
	その他特定財源	323	574	178%	982	171%		
	一般財源	24,934	59,801	240%	40,531	68%		
職員数(人)		0.16	0.29	181%	0.29	100%		
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)		2021(R3)		2022(R4)		単位
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	
指標①		体育館・はなのき会館延利用者数						人
		48,658	72,000	68%	49,221	72,000	68%	
指標②		-						
主な事業内容		施設を安全・快適に利用できるよう、メディアス体育館ひがしうら及びはなのき会館の利用受付と維持管理を行います。						
成果		利用件数及び利用者数 体育館 2020:4,210件/46,734人 2021:3,719件/47,050人 2022:4,469件/67,772人 はなのき会館 2020:170件/1,924人 2021:219件/2,171人 2022:332件/5,535人 施設の維持・管理(修繕)件数 体育館100V回路増設修繕始め10件 施設の維持・管理(業務委託)件数 電気設備保守点検業務始め7件 平時の保守点検・清掃や修繕により、利用者が安全・快適に利用できる状態が保持できました。						
課題		・施設、付帯設備の老朽化が進んでいるため、計画的な改修が必要ですが、施設の改修・更新には多額の費用がかかります。 ・平日日中の利用割合が低い傾向にあります。						
評価視点					総合評価			
必要性		有効性		効率性		A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しを検討 D:事業の統合・休廃止を検討		
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	
			○					
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等				
成果の方向性	拡充						・各種助成金制度を活用するなど財源を確保し、計画的な施設改修や設備の更新を行います。また、近隣市町と比較しながら使用料や照明代の見直しについて検討します。 ・近隣高校の部活動や、社会人、プロチームの練習の場として利用してもらう仕組みを検討します。	
	現状維持			○				
	縮小							
	休廃止							
		皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性		

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	62	頁					
	施策	2 スポーツ振興	取組	4 スポーツ施設の整備								
事業名		グラウンド・コート管理事業		SDGs 11、17								
担当課		教育部 スポーツ課 スポーツ係										
目的	誰を・何を(対象)	グラウンド・コート										
	どのようにしたいか(意図)	住民が満足できるスポーツ環境の確保に向けて、維持管理を行います。										
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額	2022(R4) 年度決算額	対前年比(%)	2023(R5) 年度予算額	対前年比(%)						
		44,225	19,955	45%	18,751	94%						
財源内訳	国・県支出金	1,188	0	0%	0	0						
	受益者負担	6,945	8,686	125%	7,900	91%						
	その他特定財源	13,323	167	1%	127	76%						
	一般財源	22,769	11,102	49%	10,724	97%						
職員数(人)		0.14	0.18	129%	0.18	100%						
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)			2021(R3)			2022(R4)			単位	
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率		
指標①		グラウンド・コート延べ利用者数									人	
		87,495	136,200	64%	109,281	136,200	80%	124,727	136,200	92%		
指標②		-										
主な事業内容		<p>町内の以下の体育施設の維持管理を行います。</p> <p>【管理施設】 町営第1グラウンド(愛称:メディアスひがしうら第1グラウンド)、町営第2グラウンド(愛称:メディアスひがしうら第2グラウンド)、文化広場テニスコート(愛称:メディアスひがしうらテニスコート)、町営南部グラウンド、町営北部グラウンド、町営西部グラウンド、岡田川テニス場、東浦みどり浜緑地多目的広場</p>										
成果		<p>利用件数及び利用者数 グラウンド 2020:1,782件/58,365人 2021:1,979件/69,343人 2022:2,346件/85,277人 テニスコート 2020:4,850件/29,130人 2021:6,036件/39,938人 2022:5,717件/39,450人 施設の維持・管理(修繕)件数 第1グラウンド防球ネット取替始め20件 施設の維持・管理(業務委託)件数 東浦みどり浜緑地多目的広場芝管理業務始め3件 平時の保守点検・清掃や修繕により、利用者が安心・快適に使用できる状態を保持できました。</p>										
課題		<p>・各施設において建物、附属設備の老朽化が進み修繕が多く発生しています。 ・構造物の大規模修繕、電工も関係する修繕・工事が増加することが想定されるため、工事を担当する職員の増員が必要です。 ・雑草や芝生の成長が早いいため、グラウンド利用者が利用しにくい状況になっています。</p>										
評価視点						総合評価						
必要性			有効性			効率性			A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しを検討 D:事業の統合・休廃止を検討			
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	B
			○									
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等								
成果の方向性	拡充				<p>・各種助成金制度を活用するなど財源を確保し、計画的な施設改修や設備の更新を行います。また近隣市町と比較しながら、使用料や照明代の見直しについて検討します。 ・工事に必要な設計書、図面(位置図、構造図)等の作成ノウハウのある職員の配置を要望します。 ・町とスポーツ協会やスポーツ少年団等がグラウンド等の草刈りや清掃を行うことで、行政と協働で施設管理します。</p>							
	現状維持			○								
	縮小											
	休廃止											
コスト投入の方向性												
		皆減	縮小	現状維持	拡大							

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	62	頁
	施策	2 スポーツ振興	取組	4 スポーツ施設の整備			

事業名		ふれあいセンター管理運営事業			SDGs	11、17				
担当課		教育部 スポーツ課 スポーツ係								
目的	誰を・何を(対象)	ふれあいセンター								
	どのようにしたいか(意図)	利用者が満足できるスポーツ環境の確保に向けて、利用受付や維持管理を行います。								
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額	2022(R4) 年度決算額 対前年比(%)		2023(R5) 年度予算額 対前年比(%)					
		37,667	36,748	98%	74,110	202%				
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0				
	受益者負担	2,131	2,616	123%	2,500	96%				
	その他特定財源	627	124	20%	94	76%				
	一般財源	34,909	34,008	97%	71,516	210%				
職員数(人)		0.11	0.12	109%	0.12	100%				
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)		2021(R3)		2022(R4)		単位		
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率			
指標①		ふれあいセンター延べ利用者数						人		
		44,514	83,000	54%	52,213	83,000	63%		64,198	83,000
指標②		-								
主な事業内容		施設を安全・快適に利用できるよう、北部・西部ふれあいセンター、藤江コミュニティセンターの利用受付や維持管理を行います。								
成果		利用件数及び利用者数 北部 2020:1,028件/14,702人 2021:1,283件/18,934人 2022:1,396件/21,214人 西部 2020:1,348件/13,479人 2021:1,113件/15,319人 2022:1,188件/18,540人 藤江 2020:1,191件/16,333人 2021:1,247件/17,960人 2022:1,564件/24,444人 施設の維持・管理(修繕)件数 14件 施設の維持・管理(業務委託)件数 8件 平時の保守点検・清掃や修繕により、利用者が安心・快適に利用できる状態を保持できました。								
課題		・施設、付帯設備の老朽化が進んでいるため、計画的な改修が必要ですが、施設の改修・更新には多額の費用がかかります。 ・平日日中の利用割合が低い傾向にあります。								

評価視点								総合評価				
必要性				有効性				効率性				A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しを検討 D: 事業の統合・休廃止を検討 B
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	
			○				○				○	

今後の方向性					事業の改善点・今後の具体的な取組等						
成果の方向性	拡充				・各種助成金制度を活用するなど財源を確保し、計画的な施設改修や設備の更新を行います。また、近隣市町と比較しながら、使用料の見直しについて検討します。 ・近隣高校の部活動や、社会人、プロチームの練習の場として利用してもらう仕組みを検討します。						
	現状維持			○							
	縮小										
	休廃止										
		皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性					

1 施策の位置づけ

施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	66	頁
施策	3 文化振興					
施策の目標	郷土の歴史と文化の魅力が感じられるまちを目指します	SDGs	4、8、17			
施策の概要	郷土の魅力を再認識し、自分たちが住むまちに愛着をもってもらえるような取組を進めます。					

2 取組の成果指標

指標名	単位	基準値	実績値					目標値
		2017(H29)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2023(R5)
文化協会の会員数	人	530	443	411	405	385		530
郷土資料館の来館者数	人	25,235	24,133	14,974	19,994	19,821		29,000
東浦ふるさとガイド協会の会員数	人	39	35	35	35	35		40

3 施策を構成する事業の評価(取組別)

取組①		郷土の歴史、文化財の保存・活用						
取組の概要		郷土資料館を中心として郷土の歴史、文化財の保存・活用を推進します。						
番号	施策を構成する事業名	担当課	事業費(千円)			方向性		重点化
			2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	成果	コスト	
1	郷土資料館管理事業	生涯学習課	15,162	43,785	17,028	現状維持	現状維持	
2	郷土資料館事業	生涯学習課	5,674	3,113	4,967	現状維持	現状維持	◎
取組②		郷土の伝統文化の継承						
取組の概要		郷土の伝統文化を後世へつなげます。						
番号	施策を構成する事業名	担当課	事業費(千円)			方向性		重点化
			2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	成果	コスト	
1	文化財保護事業	生涯学習課	2,556	3,981	3,591	現状維持	現状維持	○
取組③		文化・芸術活動の推進						
取組の概要		文化芸術活動を支援します。						
番号	施策を構成する事業名	担当課	事業費(千円)			方向性		重点化
			2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	成果	コスト	
1	文化芸術活動推進事業	生涯学習課	1,691	2,306	2,006	現状維持	現状維持	

4 施策の評価

評価視点	評価内容
成果指標の分析	前年度に比べ郷土資料館の来館者数が微減しています。企画展での来館者数が約2,900人(38%)減少していることから、多くの来館者が見込まれる企画展でより多くの人の興味を引く展示を企画・実施し、郷土資料館の存在を広く認知してもらえるように努めます。
事業構成の適正化	事業構成については見直す必要はないと考えていますが、郷土資料館では魅力ある企画展の実施やマンネリ化した講座内容の見直しを行い来館者増につなげると同時に、地域の伝統文化や郷土の魅力を伝えるガイドボランティアの育成を継続して行います。文化芸術活動については、文化協会の会員数を増やせるよう活動の活性化を促していきます。
事業の重点化	ガイドボランティアの活動を支えるため、活動内容の紹介等のPRを積極的に行い、東浦ふるさとガイド協会の新規会員獲得を目指します。文化財保護として、地域の祭礼を後世へつなげていくため補助金を活用し文化の伝承を図るとともに、所蔵資料を適切な状態で保存するため計画的な修繕を行っていきます。
協働の進め方	毎年2、3校の小学校と連携し、町内各地区にある文化財の紹介動画を町内の小学生に作成してもらうことで郷土への興味関心を養い、完成した動画はPR活動に活用します。

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	66	頁	
	施策	3 文化振興	取組	1 郷土の歴史・文化財の保存・活用				
事業名		郷土資料館管理事業		SDGs	4, 17			
担当課		教育部 生涯学習課 文化財係						
目的	誰を・何を(対象)	郷土資料館及び収蔵資料等						
	どのようにしたいか(意図)	<ul style="list-style-type: none"> ・設備等の保守や修繕等により適切に維持管理し長寿命化を図ります。 ・東浦の歴史を語る貴重な資料を適切に維持管理し、後世へ伝えます。 						
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額	2022(R4) 年度決算額	対前年比(%)	2023(R5) 年度予算額	対前年比(%)		
		15,162	43,785	289%	17,028	39%		
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0		
	受益者負担	156	140	90%	156	111%		
	その他特定財源	17	32	188%	39	122%		
	一般財源	14,989	43,613	291%	16,833	39%		
職員数(人)		0.55	0.55	100%	0.53	96%		
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)		2021(R3)		2022(R4)		単位
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	
指標①		-						
指標②		-						
主な事業内容		①施設の保守点検委託 ・消防設備、防犯警備、電気施設の保守点検 ・清掃業務、植栽等維持管理業務、防犯警備業務、収蔵資料くん蒸業務委託 ②施設の修繕・工事 ・空調機更新工事						
成果		①施設の適正な維持管理を行い、利用者が安全に利用できる施設を保つことができました。 ②計画的に施設の修繕・工事を行うことができました。設置後24年経過した空調機の更新を行い、施設の長寿命化を図ることができました。						
課題		資料の保管場所が不足しており、新たな保管場所が必要です。						
評価視点						総合評価		
必要性		有効性		効率性		A		
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	
			○				○	
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等				
成果の方向性	拡充						<ul style="list-style-type: none"> ・資料の保管場所を増やすために既存の保管場所の整理を行うなど場所・建物を検討します。 ・施設建設後24年経過しており、今後は大規模な修繕・工事が必要になることが想定されるため、より計画的に施設の更新を行い施設の長寿命化を図ります。 	
	現状維持			○				
	縮小							
	休廃止							
		皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性		

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり			項	2 生涯学習		掲載	66 頁		
	施策	3 文化振興			取組	1 郷土の歴史・文化財の保存・活用					
事業名		郷土資料館事業			SDGs	4, 17					
担当課		教育部 生涯学習課 文化財係									
目的	誰を・何を(対象)	住民									
	どのようにしたいか(意図)	<ul style="list-style-type: none"> 郷土の歴史や文化財の情報発信・学習機会を提供し、東浦の歴史や文化財への関心や親しみを高め、郷土に対する愛着を持ってもらうきっかけとします。 ガイドボランティアを育成し、郷土の魅力を伝えます。 									
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額			2022(R4) 年度決算額 対前年比(%)		2023(R5) 年度予算額 対前年比(%)				
		5,674			3,113 55%		4,967 160%				
財源内訳	国・県支出金	0			0 0		0 0				
	受益者負担	314			413 132%		712 172%				
	その他特定財源	0			0 0		0 0				
	一般財源	5,360			2,700 50%		4,255 158%				
職員数(人)		0.80			0.80 100%		0.80 100%				
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)			2021(R3)			2022(R4)			単位
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	
指標①		郷土資料館で実施する講座・教室の定員に対する受講率									%
		96	75	128%	81	75	108%	94	75	125%	
指標②		-									
主な事業内容		<ul style="list-style-type: none"> ①企画展の開催 ②東浦ふるさとガイド協会の育成支援のためのガイドボランティア養成講座の開催 ③東浦の歴史や文化財に関する講座や陶芸教室の開催 									
成果		<ul style="list-style-type: none"> ①春と秋の企画展に加え、ミニ企画展を開催し、郷土の歴史の情報発信を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> 春の企画展:「SDGsってなあに?ーはじめよう!過去を学び、未来に向けてー」、入館者数2,824人 秋の企画展:「四季の風景展ー郷土ゆかりの画家たちー」、入館者数1,950人 ミニ企画展3回開催 ②空調設備の不具合により回数が少なくなりましたが、講座を開催しました。 <ul style="list-style-type: none"> ガイドボランティア養成講座:1講座1回、受講者数23人 東浦ふるさとガイド協会の会員数:35人(新規会員数0名) ③新型コロナウイルス感染防止のため講座の内容を工夫して開催し、郷土の歴史についての学習機会を提供できました。 <ul style="list-style-type: none"> 歴史関係講座:8講座151人、陶芸関係講座:6講座48人 									
課題		<ul style="list-style-type: none"> ①企画展の情報を知らないという意見もあり、十分に周知できていません。 ②東浦ふるさとガイド協会の新規会員が増えず、会員の高齢化が進んでいます。 									
評価視点							総合評価				
必要性			有効性			効率性			A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しを検討 D: 事業の統合・休廃止を検討		
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い
○			○			○			A		
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等							
成果の方向性	拡充										
	現状維持			○							
	縮小										
	休廃止										
コスト投入の方向性				<ul style="list-style-type: none"> ①何度も足を運んでもらえるよう定期的に企画展を開催し、魅力ある展示内容や効果的な宣伝を考えていきます。また、施設のPRを図るため、中央図書館と連携した展示や講座にも取り組みます。 ②ガイドボランティアの活動に興味を持ってもらえるよう、東浦ふるさとガイド協会と協力して、誰でもできる・楽しくできるガイドなど活動内容の紹介等を行います。 ①②とあわせて、全小学校への来館学習を働きかけ、学校との連携を進めて、来館者数の増加へつなげます。 							

事業名		郷土資料館事業			担当課	生涯学習課 文化財係		
No.	細事業名	概要			2022(R4) 年度 決算額 (千円)	2023(R5) 年度 予算額 (千円)	今後の方向性	
		対象	手段	意図			成果	コスト
1	企画展開催事業	住民	収蔵資料等を活用し、企画展を開催して	東浦町の歴史や文化財への関心や親しみを高めてもらいます。	1,642	2,111	現状維持	現状維持
2	ガイドボランティア養成講座事業	ガイドボランティアになる意欲がある住民	講座を開催して	東浦ふるさとガイド協会の会員になってもらいます。	25	34	現状維持	現状維持
3	講座開催事業	住民	講座・教室を開催して	東浦町の歴史や文化財への関心や親しみを高めてもらいます。	683	800	現状維持	現状維持
4	郷土資料館関連事業	住民	パンフレットや図書を印刷し配布するとともに、収蔵資料等の保存活用を図る事業を行うこと	東浦町の歴史や文化財への関心や親しみを高めてもらいます。	763	2,022	現状維持	現状維持
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
事務事業合計					3,113	4,967	現状維持	現状維持

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり			項	2 生涯学習			掲載	66	頁		
	施策	3 文化振興			取組	2 郷土の伝統文化の継承							
事業名		文化財保護事業			SDGs	4, 17							
担当課		教育部 生涯学習課 文化財係											
目的	誰を・何を(対象)	文化財及び伝統文化											
	どのようにしたいか(意図)	<ul style="list-style-type: none"> ・国・県・町指定文化財や郷土の伝統文化の保存継承活動を支援し、後世に伝えます。 ・町内に残る文化財を多くのおみなさんに知ってもらい、文化財の保護へつなげます。 											
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額			2022(R4) 年度決算額 対前年比(%)			2023(R5) 年度予算額 対前年比(%)					
		2,556			3,981 156%			3,591 90%					
財源内訳	国・県支出金	17			17 100%			13 76%					
	受益者負担	0			0 0			0 0					
	その他特定財源	0			0 0			0 0					
	一般財源	2,539			3,964 156%			3,578 90%					
職員数(人)		0.74			0.72 97%			0.77 107%					
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)			2021(R3)			2022(R4)			単位		
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率			
指標①		-			-			-					
指標②		-			-			-					
主な事業内容		<ul style="list-style-type: none"> ①文化財保護審議会の開催 ②文化財説明板等の修繕等 ③天白遺跡ひろばPR動画の制作 ④文化財補助金の交付 											
成果		<ul style="list-style-type: none"> ①会議を開催し、文化財の保存等について意見をいただき、緒川地区史跡めぐりコース作成等に反映させることができました。 ・年3回開催 ②定期的に修繕することにより、文化財等そのものがある場所で周知し、身近にある文化財に触れることができました。 ・5基修繕(合計61基設置) ③天白遺跡ひろばを広くPRするため、地元の小学生にPR動画を制作してもらい、町ホームページで公開しました。 ④新型コロナウイルス感染症の影響が続くなか、地域の祭礼を中止した地区もありましたが、各保存団体は感染対策を講じて活動を行い、継承への取組が続けられています。 ・東浦町文化財保存事業費補助金交付要綱に基づき、指定文化財の所有者や保存団体等へ補助金を交付し、継承活動を支援しました。3団体160,000円 											
課題		<ul style="list-style-type: none"> ①文化財説明板は文章による説明が中心で写真等がないため、理解するのが難しいものもあります。 ②祭礼の本格的な実施が未だ難しい中、祭礼の継承が難しくなっています。また、地域の伝統文化に対して関心が低くなり、伝統文化の担い手が少なくなっています。 											
評価視点								総合評価					
必要性			有効性			効率性			A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しを検討 D: 事業の統合・廃止を検討				
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	A	
	○				○				○				
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等									
成果の方向性	拡充											<ul style="list-style-type: none"> ①学校と連携し、地域の文化財を紹介するPR動画を制作します。町のホームページへの掲載や、現地にある文化財説明板にQRコードを掲示し、動画による説明を追加していきます。 ②引き続き、町内各地域の伝統文化の保存会が集まって情報交換する機会を設けたり、活動を紹介して支援していきます。 	
	現状維持			○									
	縮小												
	休廃止												
		皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性							

事業名		文化財保護事業		担当課	生涯学習課 文化財係			
No.	細事業名	概要			2022(R4) 年度 決算額 (千円)	2023(R5) 年度 予算額 (千円)	今後の方向性	
		対象	手段	意図			成果	コスト
1	文化財保護審議会事業	文化財保護審議会委員	町指定文化財の指定等を審議してもらうことで	町内の文化財を保護します。	80	105	現状維持	現状維持
2	文化財保護事業	住民	文化財説明板等を設置や文化財PR動画を見てもらうことで	東浦町の歴史や文化財等を知ってもらいます。	3,741	3,286	現状維持	現状維持
3	文化財補助事業	指定文化財の所有者・保存団体等	補助金を交付して	指定文化財の保存・継承を図ります。	160	200	現状維持	現状維持
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
事務事業合計					3,981	3,591	現状維持	現状維持

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	66	頁			
	施策	3 文化振興	取組	3 文化・芸術活動の推進						
事業名		文化芸術活動推進事業		SDGs	8, 17					
担当課		教育部 生涯学習課 生涯学習係								
目的	誰を・何を(対象)	住民、参加者								
	どのようにしたいか(意図)	生活の中の潤いや安らぎ、創造の喜びのため、文化活動や芸術鑑賞ができ、学習の成果を発表するなどして、住民等が文化の創造と発展の主体となっています。								
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額	2022(R4) 年度決算額	対前年比(%)	2023(R5) 年度予算額	対前年比(%)				
		1,691	2,306	136%	2,006	87%				
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0				
	受益者負担	124	166	134%	377	227%				
	その他特定財源	300	300	100%	0	0%				
	一般財源	1,267	1,840	145%	1,629	89%				
職員数(人)		0.18	0.19	106%	0.17	89%				
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)		2021(R3)		2022(R4)		単位		
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率			
指標①		うの花音楽祭の来場者数						人		
		-	350	-	-	350	-		200	350
指標②		-								
主な事業内容		①文化協会補助金 ②うの花音楽祭委託事業の実施 ・実行委員 東浦町コーラス連盟 ・内容 合唱祭(音楽祭)の企画及び運営 ③落語を楽しむ会委託事業の実施 ・実行委員 落語を楽しむ会実行委員会 ・内容 落語家として活躍する地元出身者による寄席の企画及び運営								
成果		以下の事業を住民が主体的に取り組み実施することで文化芸術の振興に寄与しました。 ①文化センターの利用が再開し、年間を通して計画に沿った活動ができました。 ②新型コロナウイルス感染症の影響により中止していましたが、3年ぶりに開催しました。 ③2022年12月25日(日)に開催 来場者:111名								
課題		①文化協会会員が高齢化しているとともに会員数が減少傾向にあります。新規に加入する人も少なく協会の会員数を維持できるかが課題です。 ②出演者が固定化しているため、一般団体の募集をしていますが、参加団体の年齢層や構成に偏りがあります。								
評価視点						総合評価				
必要性		有効性		効率性		A				
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い			
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等						
成果の方向性	拡充				①他の事業・イベントとのコラボなど、新規会員の獲得につながるよう文化協会を支援します。					
	現状維持			○	②一般団体の募集を行う際に、広報紙及びホームページのほか、LINEやTwitterといったSNSに加え、ポスターを作成するなど周知方法の検討を行います。参加団体を増やすことで祭典を盛り上げ、来場者数の増加につなげます。					
	縮小									
	休廃止									
		皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性				

事業名		文化芸術活動推進事業			担当課		生涯学習課 生涯学習係	
No.	細事業名	概要			2022(R4) 年度 決算額 (千円)	2023(R5) 年度 予算額 (千円)	今後の方向性	
		対象	手段	意図			成果	コスト
1	盆踊り講習会事業	各地区コミュニティの住民	講師による盆踊り講習会を開催することで	盆踊りの練習機会を提供し地域振興に寄与します。	15	15	現状維持	現状維持
2	東浦町音楽祭委託事業	コーラス団体	うのはな音楽祭を開催することで	歌唱コーラスの振興と文化芸術の発展に寄与します。	180	180	現状維持	現状維持
3	講座等開催委託事業	住民	落語を楽しむ会を開催することで	落語を通して文化芸術への興味や理解を深めます。	425	425	現状維持	現状維持
4	文化協会補助事業	文化協会	補助金を交付して	文化芸術団体を支援しその振興発展を図ります。	1,686	1,386	現状維持	現状維持
5	著名人イベント事業 (2022年度未実施)	住民	著名人によるイベントの実施することで	文化芸術に触れる機会を作ります。	0	0	現状維持	現状維持
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
事務事業合計					2,306	2,006	現状維持	現状維持

